

平成31年(令和元年)度 佐呂間町教育の概要



佐呂間中学校運動会



佐呂間町教育委員会

目 次

佐呂間町の概要	1
佐呂間町教育目標	2
学校教育目標	3
佐呂間町教育行政推進方針（抜粋）	4
学 校 教 育	
学 校 概 要	
佐呂間小学校	8
若佐小学校	10
浜佐呂間小学校	12
佐呂間中学校	14
佐呂間高等学校	16
学校教育団体	18
統廃合の沿革	19
社 会 教 育	
社会教育目標	24
社会教育関係事業	26
社会教育団体	35
教 育 予 算	37
教 育 施 設	
施設の概要	38
施設の利用状況	40
教育関係委員名簿	41
佐呂間町教育委員会事務局の機構	42

佐 呂 間 町 の 概 要

■ 沿革

佐呂間町は、1894年(明治27年)、青森県人が浜佐呂間に定住したことにより歴史の1ページが始まった。以来、本州各地から農漁業を営む入植者が次々と来住、本町を開拓してきた。そして農林漁業を基幹産業に、更に本町をシンボライズするサロマ湖を中心に観光地として発展を遂げ、1994年に開基100年を迎えた。

■ 町名の起源

町名は、アイヌ語の「サロオマペツ」(葦のあるところの川)と「サラオマ」(葦のあるところの沼)が起源とされている。それが転じてサロマとなり、1915年(大正4年)には佐呂間と和文転用された。

■ 位置

オホーツク管内のほぼ中央部に位置し、北見市、湧別町、遠軽町と隣接しており、北方は一帯がサロマ湖に面している。

■ 地勢

佐呂間町は、大雪山系の山々を背景に、東西が細長く、北方は丘陵地帯を形成し、またその一帯は海に面している。町の中央を流れる佐呂間別川はサロマ湖へと注ぎ、流域一帯には肥沃な大地が広がっている。

■ 町章

佐呂間町のカナ文字を、「サ」が「口」と「マ」を囲むように図案化したものである。横棒が、全町を固く結んだ町民の心、一致団結、共存共栄、円満な理想郷を表している。



(昭和28年4月1日制定)

■ 人口

各年9月末日現在

年	世帯数	総数	男	女
平成19年	2,501	6,224	3,000	3,224
平成20年	2,504	6,114	2,919	3,195
平成21年	2,492	6,029	2,872	3,157
平成22年	2,486	5,914	2,829	3,085
平成23年	2,485	5,831	2,784	3,047
平成24年	2,461	5,725	2,739	2,986
平成25年	2,562	5,770	2,698	3,072
平成26年	2,556	5,655	2,638	3,017
平成27年	2,543	5,547	2,607	2,940
平成28年	2,495	5,387	2,538	2,849
平成29年	2,476	5,291	2,484	2,807
平成30年	2,499	5,237	2,451	2,786

佐呂間町教育目標

森と湖の大自然に育まれた私たち町民は「英知と友愛と勇氣」をもって、明るく豊かなまちづくりを目指し、活力ある人間性豊かなたくましい人になるため、この教育目標を制定します。

みづか
自 ら 学 び

と も に 磨 き 合 い

ひろ
広 い 心 と

い
生 き が い を も ち

ふ る さ と を 愛 す る

た く ま し い サ ロ マ 人

(平成7年1月1日制定)

■ 解 説

佐呂間町は、開拓以来、心豊かな人づくりを目指し、明るく平和な町づくりの創造に、英知と友愛と勇氣をもって励んできました。

これからは、新しい時代に向けて、創造的に富む知性豊かな人になるために自ら学ぶ姿勢をもち、考え、行動することが求められます。

また、自然や文化に親しみ、美しさや優しい心など、豊かな情操を培うと共に、広い心で人々と交流し、ともに磨き合い、ふるさとの発展に努めることが必要です。

さらに、町民としての責任と誇りを自覚し、自然の豊かさと調和した産業と文化の町づくりを目指して、ふるさとの発展に励むことが大切です。

そして強い意志をもって、心身を鍛え、明るくたくましく生きるために、生命を尊びふるさとの自然や特性を生かして、積極的に行動する事が望まれています。

ふるさとの21世紀を展望するとき、生涯を通じて学ぶ意欲をもち、町民一人一人が主役となり、生きがいのある生活を築く、「たくましいサロマ人」になることが期待されます。

■ 基本的指標

- 【知】
 - ・自ら学び、創造的に実践する人に
 - ・広い考えで、時代の変化にたくましく対応する人に
 - ・生涯学び続け、生きがいのある人生を築く人に
- 【情】
 - ・自然を愛し、思いやりのある心をもつ人に
 - ・郷土の文化を大切に、豊かな社会をつくる人に
 - ・広い心で、国際社会のためにつくす人に
- 【意】
 - ・責任をもち、自ら進んでやりぬく人に
 - ・勤労に喜びをもち、よりよい生活をする人に
 - ・町民としての誇りをもち、地域の発展に努める人に
- 【体】
 - ・健康安全に心がけ、進んで心身を鍛える人に
 - ・スポーツに親しみ、活力ある生活をする人に
 - ・生命を尊重し、うるおいのある生き方をする人に

学 校 教 育

学校教育目標

～自ら未来をきり拓き、たくましく生きるために～

- 自ら学び 創造力のある人に
- 郷土を愛し 豊かな心をもつ人に
- 進んで働き 最後までやりぬく人に
- 生命を尊び 明るくたくましい人に

(平成7年4月1日改定)

■ 解 説

佐呂間町は、森と湖のまちにふさわしい文化の創造のため、多くの困難を乗り越え、開基100年の輝かしい歴史と伝統を築いてきました。この先人の魂を正しく継承し、21世紀を担う子ども達が調和のある発達を期すための目標であります。そして、限りない未来を拓く子ども達の心身ともに健全な成長を願い「自ら考え、正しく判断できる人間性豊かなたくましい子ども」の育成を目指しています。

○自ら学び、創造力のある人に

生涯にわたって学び、創造力のある人になるためには、自ら学ぶ意欲や態度を培い基礎的・基本的内容をしっかり身につけることが大切です。

そして、個性を生かしながら思考力・判断力・表現力や情報処理能力など、生きて働く力を培い、時代の変化に対応する積極的な態度や能力を育成することが重要です。

○郷土を愛し、豊かな心をもつ人に

ふるさとを愛し、人を思いやる豊かな心をもつ人になるためには、自然に親しみ、人間尊重の精神や感謝の心を培い、積極的に行動する態度を身につけることが大切です。

そして、広い心と温かい人間性を育て、たがいに協力し合い、励まし合って郷土のためにつくす態度や国際社会に適応する能力を育成することが重要です。

○進んで働き、最後までやりぬく人に

仕事に励み、強い意志と実力をもち、個性豊かな人になるためには自ら考え行動し、自発的に課題を解決していく態度を身につけることが大切です。

そして、積極的に体験する中で、ものごとを深く探求する心を培い、自分のよさを生かしながら、最後まで根強くやりぬく力を育成することが重要です。

○生命を尊び、明るくたくましい人に

生命を大切にし、自ら心や体を鍛え、明るく生きる人になるためには日常的に健康安全に努め、心身を磨き、自ら解決していく態度を身につけることが大切です。

そして、家庭や地域との連携を密にし、生涯にわたって自ら実践するとともに、環境や社会の変化に対応できる態度や能力育成することが重要です。

佐呂間町教育行政推進方針（抜粋）

今日、少子高齢化や情報化の進展、人工知能の普及、産業構造・雇用の変化、価値観の多様化、グローバル化の進展などにより、社会が大きく変化しています。次代を担う佐呂間町の子ども達には、こうした社会の変化に対応できる、資質・能力の育成が不可欠であります。

このことは、新学習指導要領の中でも、新しい時代に必要となる人材の育成として、子ども達「一人ひとり」が、「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする」と示されており、これを実現するために佐呂間町の教育大綱「こころを育む魅力ある教育をめざして」を推進してまいります。

また、教育基本法の「生きる力」の理念のもとに「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな身体」の育成を図るため、家庭や地域社会の中で多くの人とのかかわり、人間関係や集団生活のルール等、体験を通して学びながら、コミュニケーション能力や規範意識等の社会性や道徳性を身につけ、心身共にたくましく成長する環境づくりに努めてまいります。

社会教育においては、第7次社会教育中期計画に基づき、幼年期から高齢期まで町民皆さんの生涯のあらゆる機会に応じた事業の実施、高度化・多様化する学習ニーズに応じた支援や的確な情報提供に努めてまいります。

こうした考えのもとで平成31年度教育行政推進にあたり、佐呂間町教育目標『自ら学び ともに磨き合い 広い心と 生きがいをもち ふるさとを愛する たくましいサロマ人』を目指し、本町の豊かな自然や歴史、文化を踏まえた地域の特性を活かし、保育所及び小中高各学校間の連携協力、地域・家庭との連携を密に、次の3点を重点とし佐呂間町教育行政を進めてまいります。

一、未来を担う子ども達の確かな学力の向上と生活習慣の確立により、豊かな人間性を育む教育の推進

一、生活に潤いや生きがいをもたらす文化活動や健康で充実した生活を目指すスポーツ活動の推進

一、誰もが生涯にわたり積極的に学び、その成果を生かせる生涯学習活動の推進

以下、各項目にわたりご説明申し上げます。

◎学校教育の推進

1. 確かな学力の育成

変化の激しいこれからの社会を生きる子ども達には、学習意欲を基盤とした基本的な知識・技能の習得とその活用を通じて思考力、判断力、表現力等を伸ばしていくことが重要です。

このような中、児童生徒の学力や学習状況を的確に把握するとともに学力の向上に向けて、町内教職員等で組織する学力向上推進委員会での分析や家庭学習の習慣化、長期休業中の学習サポート、ICTを活用した教育の推進など効果的な取組に努めてまいります。

学力向上には教員の資質によることも大きく校内研修をはじめ、各種研修会の参加奨励、指導主事の要請訪問など組織として教員の指導力向上に努めるとともに、小中高の学校間連携強化を図り、それぞれの学校において教員が専門性を発揮し、より実践的な教育が継続して行われるよう基盤整備に努めます。

さらに、子ども達に学力の基礎・基本を身に付けさせるため、町単独の教員を採用し、佐呂間小学校の2年生を2クラス編成にするとともに、新たな取り組みとして小学生の家庭学習を支援する佐呂間町小学生学習サポート事業を試行的に実施してまいります。

また、中学校には引き続き町単独の教員と学習支援員を配置し、次代を担う子ども達の確かな学力を育む教育活動に向け、学校・家庭・地域と社会全体で取り組めるよう環境の充実を推進してまいります。

新学習指導要領では、英語の授業が小学校3・4年生では外国語活動として、5・6年生で外国語の教科として導入されましたので、町内の複式学級における英語教育の充実を図るため、引き続き英語授業補助員を採用し円滑な授業実施に努めるとともに、小中学生が受験する日本漢字能力検定や実用英語技能検定の検定料等の助成に、新たに中学生を対象とした実用数学技能検定を加え、学力及び学習意欲向上を図ることといたします。

2. 特別支援教育の充実

本年度は、全ての学校に特別支援学級を設置し、個別の指導計画に基づく、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行うこととしております。

また、普通学級に在籍しながらも特別に支援を要する児童生徒が増えている現状から各学校に特別支援員を配置し、児童生徒個々に応じたきめ細やかな支援を行うことにより、そのもてる力を高め自立や社会参加に向けた指導を行ってまいります。

さらに、会話や発音など一部言語発達に関する遅滞を有する児童のために、引き続き佐呂間小学校のこたばの教室において一人ひとりに応じた支援に努めてまいります。

3. 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

子ども達が、生命や人権を尊重する心、思いやりの心を醸成し、ともに支え合いながら社会の一員として成長していくためには、規範意識や価値観の多様性を身に付け、心身の健やかな発達を支えていくことが重要であります。

それぞれの発達段階に応じた道徳教育により、自己の生き方を考え、主体的な判断のもと行動し自立した人間として他者とともに、よりよく生きるための基盤となる道徳性・社会性を身に付けさせる指導を行ってまいります。

いじめや不登校などといった課題は、児童・生徒が関わりをもつ多様な環境における人間関係などさまざまな要因により発生しています。このことから、日ごろから子ども達の些細な変化を見逃さないよう早期発見による問題解決を基本に努めていますが、今後も問題行動等の未然防止と早期対応、早期解決のため、家庭・学校・教育委員会等の連携を密にして、指導や再発防止を図るとともに、専門的知識を有する教育相談員による相談体制と支援体制の充実を図ってまいります。

4. 心身の健やかな成長を促す教育の推進

体力は、意欲や気力にも大きく関わり、あらゆる活動の源になるものであり、子ども達が生涯にわたって心身共に健やかに生きるための基盤を培うことが大切です。

今後も、子ども達自らが進んで運動を行う習慣の定着や子どもの望ましい生活リズムを整えるため、学校の取組はもとより家庭や地域との連携を図り、地域社会全体で児童生徒の体力向上に向けた取組を推進してまいります。

学校給食においては、子ども達が健康で豊かな人間性を育んでいく基礎とするため、栄養バランスに配慮した「おいしく・安全安心な学校給食」の提供を行うとともに、生産者との連携を深め、地場産品を活用し地域に根ざした学校給食を目指します。

また、学校における食物アレルギー対応の進め方などは、「食物アレルギー対応の手引き」により、医師の診断書に基づいたアレルギー対応食の提供を行うとともに、子ども達が食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けることができるよう、栄養教諭による食育の推進に努めてまいります。

給食費については、平成27年度から20円の値上げを実施いたしましたが、児童生徒の給食費の値上げ相当分については、少子化に伴う子育て支援策の一環として、本年度も引き続き同額の町費負担を行い、保護者の負担軽減を継続してまいります。

さらに、引き続きフッ化物洗口を全小中学校で実施し歯と口腔の健康づくりに向けた取組を町内歯科医師の協力のもと推進するとともに、近年の猛暑を踏まえ各学校の保健室にエアコンを設置

し、保健室を利用する児童生徒の体調管理を図ることといたします。

また、スマートフォンの普及など日々急速に変化する情報化社会に対応できるよう、対処方法や留意事項などの情報を発信するとともに、インターネットやゲーム、メール等の過度の利用により、睡眠不足などから授業に集中できない事例などが懸念されていますので、一人ひとりが正しい判断力と自制心を身に付ける生活習慣の確立に努めてまいります。

5. 信頼される学校づくりの推進

地域に開かれ信頼される学校を実現するため、学校には保護者や地域住民の意見や要望に耳を傾け、家庭や地域社会と連携協力していくことが求められています。

そのため、保護者・児童生徒・教職員による学校評価を活用し、その結果を保護者や地域に公表し理解を得るとともに、学校改善に活かしてまいります。

また、保護者や地域住民の参画しやすい環境を整え開かれた学校づくりを促進していくために、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入を進めてまいります。

今後も、小学校と中学校など学校間の連携により連続的につなぐ教育の推進を目指し、小中学校の円滑な接続、中1ギャップの解消に向けて、全小学校6年生が一同にしての交流学习の推進を図ります。

6. 佐呂間高校存続対策

高等学校教育は、義務教育で培った知識や教養をさらに深め、社会に必要とされる人材の育成に大きな役割を担っています。

このような中、佐呂間高校は地域キャンパス校から地域の教育機能を確保するための新しい指針による「地域連携特例校」と改称になりましたが、これまでの地域との連携を確実に進め、小規模校の特性に応じた教育活動により、教育水準の向上が図られるよう、引き続き体育活動・文化活動に係る各種大会等への出場経費の助成や生徒の進路実現に対する支援・部活動の遠征費の支援とともに、ふれあいバスによる各種行事の送迎等を行い保護者の負担軽減を図ってまいります。

今後も少子化は続きますが、中高連携により一人でも多くの生徒が佐呂間高校へ進学するよう、関係者の皆さんと十分協議を重ね佐呂間高校の存続に向けた対策を講じてまいります。

◎社会教育の推進

1. 社会教育の推進

社会教育活動は、生涯学習社会を形成するための人づくりであり、「いつでも、どこでも、だれでも」楽しく学ぶことができ、地域住民同士が学び合い、教えあう相互学習等を通じて、人と人との強い絆で結ばれた地域づくりを目指すものであります。

佐呂間町社会教育目標『人々を 地域を 夢を育む サロマの未来』を基底とする第7次佐呂間町社会教育中期計画を基礎に、町民の自発的・主体的な学習に対する支援や、多様化、高度化する学習ニーズに応え、乳幼児から高齢者まで年齢に応じた幅広い事業展開や、豊かな人間性を培うため交流活動への参加、体験機会の充実に努めてまいります。

また、学校・家庭・地域が深く結びついた学校教育と連携した社会教育事業の展開も図ってまいります。

芸術文化活動の推進については、佐呂間町芸術文化事業補助要綱に基づいた助成制度の利用促進を図り、町民の主体的な活動の支援をしていきます。芸術鑑賞事業や発表機会の充実、町内外の情報提供についても引き続き努めてまいります。

2. 図書館事業の推進

図書館は、住民の読書や学習活動を支えることはもとより、町民の生涯学習活動の拠点の一つとなる施設であることを認識し、乳幼児から寿世代までの町民のニーズや社会の動向等に応じた資料収集を行い情報提供に心がけております。

本年度も乳幼児を対象とした「ブックスタート」事業や読書の定着を図る目的で3歳児に本を贈る「セカンドブック」事業、成人式で本を贈る「20歳の20冊」事業を継続して実施するとともに、移動図書館車による巡回や学校、団体への貸出を行い、また、講演会や映画鑑賞会、工作教室、図書館まつり、ボランティアサークルによる人形劇公演を開催することにより町民への読書活動の普及と環境づくりに努めてまいります。

また、図書館だより、新着情報の発行、夢通信や町ホームページ等により図書館情報を提供するとともに、町民の暮らしや活動への支援を継続し、図書館サービスの充実に努めてまいります。

3. 社会体育の推進

スポーツ活動は、健康保持や体力増強はもとより、仲間の輪が広がり、楽しみ、生きがいを得て、豊かな生活をもたらします。

スポーツを通じて、心と体が鍛えられるとともに、幅広い人間関係が形成され、豊かな地域社会を築くことにもつながります。

そのために、町技であるソフトボールはもちろんのこと、各種スポーツ活動の支援や環境の整備に努め、「生涯スポーツの町宣言」に沿ったスポーツの振興を図ってまいります。

社会体育の中核施設である武道館・温水プールについては、指導の充実に努め、町民の体力・健康づくりの場として、様々な事業に取り組んでいきます。

◎教育関係施設の整備について

教育関係施設の整備については、第4期佐呂間町総合計画を基本として、限られた財源を効果的に活用しながら、将来を見据えた施設の維持補修計画を策定し、より長く活用できるよう整備を進めるとともに、平成31年度は主に次のような事業に取り組んでまいります。

○佐呂間小学校校舎及び体育館煙突改修工事

○学校施設長寿命化計画策定業務委託事業

○浜佐呂間小学校改修工事

○ICT教育環境整備事業

○学校給食配送車更新事業

○町民センター集会室長机更新事業

○パークゴルフ場等芝生整備工事

○武道館・温水プールトレーニング機器更新事業

佐呂間小学校

校



所在地	常呂郡佐呂間町字幸町1番地の1					
創立年月日	平成18年 4月 1日					
沿革	平成18年 4月 1日	佐呂間町学校再編成により旧佐呂間小・知来小・仁倉小・若里小・富士小が、新「佐呂間小学校」として開設される				
	平成19年 4月 9日	佐呂間町学校給食センター開設により給食開始				
	平成20年10月	校舎暖房設備一式更新工事				
	平成20年11月28日	佐呂間町学校教育運営協議会教育実践研究会開催				
	平成21年 4月	二学期制実施				
	平成22年 3月	児童用並びに校務用パソコン新規導入				
	平成22年 8月	駐車場全面舗装工事 シャワー設備完備 玄関階段修理				
	平成22年10月	職員室・校長室防犯設備設置工事				
	平成23年 8月	階段手すり設置工事 階段防護柵設置工事				
	平成24年 5月	遊具ターザンロープ修理				
	平成24年 7月	児童用机・イス更新				
	平成24年12月	図書コーナー丸イス修理				
	平成25年 4月	言語障害通級指導教室(ことばの教室)開設				
	平成26年 4月	言語障害特別支援学級開設				
	平成27年 4月	弱視特別支援学級開設				
	平成27年 8月	図工室流し台増設				
	平成29年 4月	肢体不自由特別支援学級開設				
平成30年 8月	児童用タブレット、校務用パソコン導入、校内無線LAN工事完了					
教職員等	校長	平山 拓寿		教諭	近藤 優子	学習支援室
	教頭	落合 利広		教諭	加藤 明子	言語通級
	教諭	森下 音絵	1年	教諭	須藤 清峰	言語通級
	教諭	中野 真由美	2年	教諭	高橋 祐之	T T
	教諭	松村 良三	2年	養護教諭	佐藤 和美	
	教諭	長尾 朋章	3年	栄養教諭	大城 愛梨	
	教諭	長谷川 忍	4年	事務職員	津田 得夢	
	教諭	齋藤 潤	5年	特別支援員	津村 接美	
	教諭	埜村 望	6年	特別支援員	本田 まゆみ	
	教諭	榎本 創一	専科	特別支援員	池田 明美	
	教諭	遠藤 紀子	学習支援室	特別支援員	谷口 秀美	
	教諭	佐々木 瑞姫	学習支援室	特別支援員	宮崎 美知子	
	教諭	米村 麻美	学習支援室	特別支援員	宮崎 由佳	
教諭	高松 開	学習支援室	用務員	富田 正之		
児童数	学年	児童数	学級数	学年	児童数	学級数
	1年	18	1	5年	32	1
	2年	34	2	6年	24	1
	3年	28	1	特別支援	10	3
	4年	25	1	合計	171	10
学校評議員	三田 真美			山保 浩之		
	高橋 紀久			船木 英理子		
PTA	会長	高橋 紀久		副会長	横山 明一	
	副会長	幸松 杏子		副会長	木野村 彩華	
	事務局長	石川 勝義		事務局	落合 利広(教頭)	
	会計	岸 英里		会計	津田 得夢(事務職員)	

教育目標	わたしたちは、 ふるさとの 大地に立つ 伸びゆく サロマの子です。 ・すすんで まなぶ子 ・たすけあう やさしい子 ・げんきで たくましい子
重点目標	○ 主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業改善・授業力の向上 ○ ユニバーサルデザインの視点を活かした学級経営・授業づくり
研究主題	「思考・判断・表現を通じて、高め合う子どもの育成」 ～算数科における深い学びにつながる、交流・表現の力～

基本的な日課		月	火	水	木	金
	8:10	登校	登校	登校	登校	登校
	8:20	職員朝会 全校朝会	職員朝会 学習準備	職員朝会 学習準備	職員朝会 学習準備	職員朝会 学習準備
	8:25		朝学習	朝学習	朝学習	朝学習
	8:30	学級朝の会				
	8:35		学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会
		1時間目	1時間目	1時間目	1時間目	1時間目
	9:20					
	9:25	2時間目	2時間目	2時間目	2時間目	2時間目
	10:10	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動
	10:30	3時間目	3時間目	3時間目	3時間目	3時間目
	11:15					
	11:20	4時間目	4時間目	4時間目	4時間目	4時間目
	12:05	給食	給食	給食	給食	給食
	12:45	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
	13:05	清掃	清掃	清掃	清掃	清掃
	13:25	5時間目	5時間目	5時間目	5時間目	5時間目
	14:10	学級帰りの会	学級帰りの会	学級帰りの会	学級帰りの会	移動(帰りの会)
	14:15	6時間目	6時間目		6時間目	14:25
	15:00	学級帰りの会	学級帰りの会		学級帰りの会	クラブ活動 児童委員会
	15:15					15:10
	15:30	最終下校	最終下校	最終下校	最終下校	最終下校

校歌	<p style="text-align: right;">佐呂間小学校校歌</p> <p style="text-align: right;">作詞 作曲 松田 彰光</p> <p style="text-align: center;">一 朝は輝く 光を浴びて 希望を胸に 通う路 声かけ合って 手を結び みんなで創ろう 佐呂間小</p> <p style="text-align: center;">二 花も草木も 小鳥の声も みんなやさしく 包み合う 自然の息吹 受けとめて みんなで歩もう 佐呂間小</p> <p style="text-align: center;">三 汐の香匂う 佐呂間の湖に 大きな夢を 語りつつ 育つ心を 大切に みんなで学ぼう 佐呂間小</p>
----	---

若 佐 小 学 校

校



章

所在地	常呂郡佐呂間町字中園38番地の1					
創立年月日	平成18年 4月 1日					
沿革	平成18年 4月 1日	佐呂間町学校再編成により、旧栄小学校と若佐小学校が、新「若佐小学校」として開設される				
	平成18年 4月 6日	開校式 校旗・校章制定				
	平成18年 7月 27日	旧若佐中学校校舎へ移転				
	平成18年 8月 21日	校門除幕式				
	平成19年10月 26日	自動体外式除細動器 (AED)				
	平成21年 4月	二学期制実施				
	平成21年 8月 19日	体育館照明器具取替え				
	平成22年 3月 29日	児童用・校務用パソコン設置、地上デジタルテレビ設置				
	平成22年 9月 2日	職員室・校長室に防犯システム設置				
	平成23年 3月 25日	4年生教室新設				
	平成23年 7月 26日	管理棟屋根等改修工事				
	平成24年 8月 12日	旧若佐中学校音楽室解体工事及び危険遊具撤去作業				
	平成25年 7月 30日	遊具3台設置作業				
	平成26年11月 6日	体育館女子トイレ洋式工事				
	平成27年 8月	体育館照明耐震化工事				
	平成28年 9月	校舎棟改修工事				
平成29年11月	体育館屋根塗装工事					
教職員等	校長	二神 孝久		教諭	安野 孝佑	知的学級
	教頭	佐々木 寿彦		養護教諭	笠井 優ら里	
	教諭	清水 政臣	1年	事務官	鎌土 卓美	
	教諭	古田 美佳	2・3年	公務補	本間 篤史	
	教諭	和田 信彦	4・5年	特別支援員	吉本 珠望	
	教諭	阿部 裕嘉里	6年			
児童数	学年	児童数	学級数	学年	児童数	学級数
	1年	7	1	4年	7	1
	2年	5	1	5年	8	
	3年	4		6年	10	1
	特別支援	1	1	合計	42	5
学校運営協議会委員	会長	佐々木 孝三郎	小西 利幸	鈴木 邦彦	二神 孝久	
	副会長	田宮 英明	渡部 洋	大谷 昭文	佐々木 寿彦	
PTA	会長	渡部 洋		副会長	柳原 悟	
	副会長	長澤 耕之輔		副会長	中道 奈応子	
	会計	山前 美緒		会計	鎌土 卓美	
	事務局長	佐々木 寿彦				

教育目標	<input type="checkbox"/> 考える子 …………… (知) 【本気】 ・自ら学び、創り出す <input type="checkbox"/> 助け合う子 …………… (徳) 【勇気】 ・自他の立場を考え、協力する <input type="checkbox"/> 強い体の子 …………… (体) 【根気】 ・心身ともに健康でたくましく最後までやりぬく																																																												
重点目標	『友達と協力して学び、共に高め合う、人間性豊かな子どもの育成』																																																												
研究主題	自ら学び共に高めあう子どもの育成 ～「学習ガイド」を活用した間接指導の充実～																																																												
基本的な日課	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr><td>児童登校</td><td>7:50</td><td>～</td><td>8:05</td></tr> <tr><td>朝の活動</td><td>8:05</td><td>～</td><td>8:25</td></tr> <tr><td>朝の会</td><td>8:25</td><td>～</td><td>8:35</td></tr> <tr><td>1校時</td><td>8:35</td><td>～</td><td>9:20</td></tr> <tr><td>2校時</td><td>9:25</td><td>～</td><td>10:10</td></tr> <tr><td>中休み</td><td>10:10</td><td>～</td><td>10:25</td></tr> <tr><td>3校時</td><td>10:30</td><td>～</td><td>11:15</td></tr> <tr><td>4校時</td><td>11:20</td><td>～</td><td>12:05</td></tr> <tr><td>昼食</td><td>12:05</td><td>～</td><td>12:50</td></tr> <tr><td>昼休み</td><td>12:50</td><td>～</td><td>13:05</td></tr> <tr><td>清掃</td><td>13:10</td><td>～</td><td>13:25</td></tr> <tr><td>5校時</td><td>13:30</td><td>～</td><td>14:15</td></tr> <tr><td>帰りの会</td><td>14:15</td><td>～</td><td>14:25</td></tr> <tr><td>6校時</td><td>14:25</td><td>～</td><td>15:10</td></tr> <tr><td>児童下校</td><td>15:30</td><td></td><td></td></tr> </table>	児童登校	7:50	～	8:05	朝の活動	8:05	～	8:25	朝の会	8:25	～	8:35	1校時	8:35	～	9:20	2校時	9:25	～	10:10	中休み	10:10	～	10:25	3校時	10:30	～	11:15	4校時	11:20	～	12:05	昼食	12:05	～	12:50	昼休み	12:50	～	13:05	清掃	13:10	～	13:25	5校時	13:30	～	14:15	帰りの会	14:15	～	14:25	6校時	14:25	～	15:10	児童下校	15:30		
児童登校	7:50	～	8:05																																																										
朝の活動	8:05	～	8:25																																																										
朝の会	8:25	～	8:35																																																										
1校時	8:35	～	9:20																																																										
2校時	9:25	～	10:10																																																										
中休み	10:10	～	10:25																																																										
3校時	10:30	～	11:15																																																										
4校時	11:20	～	12:05																																																										
昼食	12:05	～	12:50																																																										
昼休み	12:50	～	13:05																																																										
清掃	13:10	～	13:25																																																										
5校時	13:30	～	14:15																																																										
帰りの会	14:15	～	14:25																																																										
6校時	14:25	～	15:10																																																										
児童下校	15:30																																																												
校歌	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> 三 樹花のひかる この庭に 澄みむゆく心 歌として みんな仲よく 正しい子 われらの若佐小学校 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> 二 武士の流れ 水清く 心のちりを 洗いさり 清く素直に 伸びゆく子 われらの若佐小学校 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> 一 朝空あおく 風かおり 緑に映える 佐呂間山 みんな明るい 元気な子 われらの若佐小学校 </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right; padding-right: 50px;"> 若佐小学校校歌 小林幸男 作詞 大野恒一 作曲 </td> </tr> </table>	三 樹花のひかる この庭に 澄みむゆく心 歌として みんな仲よく 正しい子 われらの若佐小学校	二 武士の流れ 水清く 心のちりを 洗いさり 清く素直に 伸びゆく子 われらの若佐小学校	一 朝空あおく 風かおり 緑に映える 佐呂間山 みんな明るい 元気な子 われらの若佐小学校	若佐小学校校歌 小林幸男 作詞 大野恒一 作曲																																																								
三 樹花のひかる この庭に 澄みむゆく心 歌として みんな仲よく 正しい子 われらの若佐小学校	二 武士の流れ 水清く 心のちりを 洗いさり 清く素直に 伸びゆく子 われらの若佐小学校	一 朝空あおく 風かおり 緑に映える 佐呂間山 みんな明るい 元気な子 われらの若佐小学校																																																											
若佐小学校校歌 小林幸男 作詞 大野恒一 作曲																																																													

浜佐呂間小学校

校



章

所在地	常呂郡佐呂間町字浜佐呂間167番地					
創立年月日	平成18年 4月 1日					
沿革	平成18年 4月 1日	学校再編成により旧浜佐呂間小学校区, 旧幌岩小学校校区を合併し、新「浜佐呂間小学校」として設立				
	平成18年 4月 6日	開校式 校旗・校歌制定4学級 35名				
	平成19年 4月 9日	佐呂間町給食センター開所、浜佐呂間小学校給食完全実施				
	平成20年 4月 7日	旗掲揚ポール設置				
	平成21年 4月 6日	二学期制実施				
	平成21年 9月19日	二重窓設置・体育館照明交換				
	平成22年 3月	地デジテレビ・PC導入				
	平成22年 8月10日	防犯センサー設置				
	平成23年 4月 1日	特別支援学級「つばさ学級」設置				
	平成23年 7～ 9月	中学校旧校舎解体工事				
	平成25年 7～ 9月	校舎水道管工事				
	平成25年 7～10月	グラウンド工事(土入替)				
	平成26年 7～ 8月	学校林伐採				
	平成27年 7月	体育館照明耐震工事				
	平成29年 6月	学校林植樹				
	平成29年 8月	普通教室に実物投影機導入				
	平成30年 7～ 8月	普通教室3室床張替、児童玄関庇補修工事、焼却炉撤去				
平成31年 4月 1日	特別支援学級「つばさ学級」設置					
教職員等	校長	一村 操		養護教諭	栗木 南帆	
	教頭	野田坂 正法	1, 2年	事務職員	中村 真	
	教諭	中嶋 健雄	3, 4年	学校用務員	桜井 茂	
	教諭	崎野 麻美	5, 6年	特別支援員	神崎 律子	
	教諭	井上 夕紀	特別支援			
児童数	学年	児童数	学級数	学年	児童数	学級数
	1年	1	1	5年	1	1
	2年	2		6年	4	
	3年	3	1	特別支援	1	1
4年	4	合計		16	4	
学校運営協議会委員	会長	村岡 竹雄	藤原 一成	加藤 広彦	一村 操	
	副会長	宮島 善明	井上 誠	堀米 拓也	野田坂 正法	
PTA	会長	堀米 拓也		副会長	諸岡 篤史	
	生活部長	青木 義博		文化部長	矢島 大樹	
	事務局長	野田坂 正法		会計	中村 真	

教育目標	明日の郷土 ^{ふるさと} を拓 ^{ひら} くたくましい子ども 学ぶ子 心豊かな子 健やかな子																																																												
重点目標	『わかるまで学び、心豊かに、たくましくやりぬく子の育成』																																																												
研究主題	学ぶ喜びや楽しさを感じ、主体的に取り組む子どもの育成 ～子どもが自力で考え表現していく活動を目指して～																																																												
基本的な日課	<table border="0"> <tr><td>職員出勤</td><td>8:00</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>職員朝会</td><td>8:05</td><td>～</td><td>8:15</td></tr> <tr><td>児童登校</td><td>8:15</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>朝学習</td><td>8:15</td><td>～</td><td>8:25</td></tr> <tr><td>朝の会</td><td>8:25</td><td>～</td><td>8:35</td></tr> <tr><td>1校時</td><td>8:35</td><td>～</td><td>9:20</td></tr> <tr><td>2校時</td><td>9:25</td><td>～</td><td>10:10</td></tr> <tr><td>3校時</td><td>10:30</td><td>～</td><td>11:15</td></tr> <tr><td>4校時</td><td>11:20</td><td>～</td><td>12:05</td></tr> <tr><td>給食</td><td>12:05</td><td>～</td><td>12:45</td></tr> <tr><td>昼休み</td><td>12:45</td><td>～</td><td>13:05</td></tr> <tr><td>縦割り清掃</td><td>13:05</td><td>～</td><td>13:20</td></tr> <tr><td>5校時</td><td>13:20</td><td>～</td><td>14:05</td></tr> <tr><td>6校時</td><td>14:10</td><td>～</td><td>14:55</td></tr> <tr><td>児童下校</td><td>15:30</td><td></td><td></td></tr> </table>	職員出勤	8:00			職員朝会	8:05	～	8:15	児童登校	8:15			朝学習	8:15	～	8:25	朝の会	8:25	～	8:35	1校時	8:35	～	9:20	2校時	9:25	～	10:10	3校時	10:30	～	11:15	4校時	11:20	～	12:05	給食	12:05	～	12:45	昼休み	12:45	～	13:05	縦割り清掃	13:05	～	13:20	5校時	13:20	～	14:05	6校時	14:10	～	14:55	児童下校	15:30		
職員出勤	8:00																																																												
職員朝会	8:05	～	8:15																																																										
児童登校	8:15																																																												
朝学習	8:15	～	8:25																																																										
朝の会	8:25	～	8:35																																																										
1校時	8:35	～	9:20																																																										
2校時	9:25	～	10:10																																																										
3校時	10:30	～	11:15																																																										
4校時	11:20	～	12:05																																																										
給食	12:05	～	12:45																																																										
昼休み	12:45	～	13:05																																																										
縦割り清掃	13:05	～	13:20																																																										
5校時	13:20	～	14:05																																																										
6校時	14:10	～	14:55																																																										
児童下校	15:30																																																												
校歌	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>三 夕日に映える サロマ湖は 清き心を 写しだす 尊き知恵を 学びつつ 創ろう我等の 浜佐呂間小学校</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>二 広き海原 オホーツク 波は奏でる 楽の音を 明日の夢に 羽ばたこう 創ろう我等の 浜佐呂間小学校</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>一 木々のざわめき 背に受けて 笑み交わし 集う庭 仲間の絆 伝えつつ 創ろう我等の 浜佐呂間小学校</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>浜佐呂間小学校 校歌 作詞・作曲 松田 彰光</p> </td> </tr> </table>	<p>三 夕日に映える サロマ湖は 清き心を 写しだす 尊き知恵を 学びつつ 創ろう我等の 浜佐呂間小学校</p>	<p>二 広き海原 オホーツク 波は奏でる 楽の音を 明日の夢に 羽ばたこう 創ろう我等の 浜佐呂間小学校</p>	<p>一 木々のざわめき 背に受けて 笑み交わし 集う庭 仲間の絆 伝えつつ 創ろう我等の 浜佐呂間小学校</p>	<p>浜佐呂間小学校 校歌 作詞・作曲 松田 彰光</p>																																																								
<p>三 夕日に映える サロマ湖は 清き心を 写しだす 尊き知恵を 学びつつ 創ろう我等の 浜佐呂間小学校</p>	<p>二 広き海原 オホーツク 波は奏でる 楽の音を 明日の夢に 羽ばたこう 創ろう我等の 浜佐呂間小学校</p>	<p>一 木々のざわめき 背に受けて 笑み交わし 集う庭 仲間の絆 伝えつつ 創ろう我等の 浜佐呂間小学校</p>	<p>浜佐呂間小学校 校歌 作詞・作曲 松田 彰光</p>																																																										

佐呂間中学校

校



章

所在地	常呂郡佐呂間町字幸町9番地の1						
創立年月日	昭和22年 5月 1日						
沿革	昭和22年 5月 1日	佐呂間村立中佐呂間中学校として開校					
	昭和28年 4月 1日	町制施行・字名変更により佐呂間町立佐呂間中学校と改称					
	昭和40年 4月 1日	若里中学校・知来中学校・富武士中学校を統合					
	昭和41年 4月 1日	仁倉中学校を統合					
	平成11年 4月 1日	幌岩中学校を統合					
	平成18年 4月 1日	若佐中学校・浜佐呂間中学校を統合					
教職員等	校長	久井 俊範			教諭	長谷川 幸輝	知的
	教頭	椎野 高志			教諭	藤村 茶久美	情緒
	教諭	平松 遼	1-A担任	養護教諭	浅井 明美		
	教諭	日笠 竜一	1-副	事務職員	南 祐臣		
	教諭	丹野 良子	1-副	公務補	中村 宏		
	教諭	谷口 千佳	2-A担任	学習支援員	高山 智之		
	教諭	塗師 隆弘	2-副	学習支援員	岩城 巖		
	教諭	平岩 勇輝	3-A担任	特別支援員	笹川 里美		
	教諭	中野 恵琳	3-副	特別支援員	安藤 由紀恵		
	教諭	両川 明博	3-副	特別支援員	村山 知佐		
	教諭	丸野 仁美	弱視	(育休)	ホーランド 淑恵		
	教諭	渡部 博稔	情緒				
生徒数	学年	生徒数	学級数	部活動の状況			
	1年	37	1	野球部			
	2年	39	1	サッカー部			
	3年	34	1	男子バスケットボール部			
	特別支援	7	3	女子バレーボール部			
	合計	117	6	吹奏楽部			
学校評議員	山前 美緒			南保 清美			
	安藤 由			為広 裕司			
	尾崎 実						
PTA	会長	関東 正浩			副会長	石川 達也	
	副会長	岩本 和弘			事務局長	椎野 高志	

教育目標	<p>ともに磨き合い、たくましく生きる人を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学ぶ生徒（知） ・思いやりのある生徒（徳） ・たくましい生徒（体） 																												
経営の重点	<ol style="list-style-type: none"> 1 新学習指導要領の趣旨の理解とともに、各教科・総合的な学習の時間・道徳・特別活動の計画の再点検・加除・修正を進め、生きる力をバランスよく育む新たな教育課程の編成・実施・評価・改善に努める。 2 特別支援教育において組織的な指導に努める。 3 学年・学級経営の充実を期し、教師と生徒の信頼関係を基盤とした教育活動の展開に努める。 4 生徒一人一人の確かな学力の向上に努める。 5 道徳教育の充実を期し、家庭と地域の連携に努める。 6 学校における体育の時間や行事、部活動を通して、生徒一人一人の体力向上に努める。 7 学年や学校全体が一体感や感動を共有化できる学校行事を創造し、生徒の自主性や自発性を育てるように努める。 8 「教え育てるプロ」としての資質・能力の向上を図るため、全道・管内の教育情勢を把握・理解し、開かれた校内研修による教科指導・生徒指導の充実とその活性化に努める。 9 「報告・連絡・相談・確認」を徹底し、意図的・計画的な生徒指導を通して、生徒の自己指導力を高めることに努める。 10 小中高の連携の意義の下、学校間連携を一層強める教育活動の充実を努める。 11 マネジメントサイクルを意識した活動を工夫し、学校評価等を通して学校教育水準の維持とその改善に努める。 12 心技体のバランスの取れた部活動の充実を努める。 																												
研究主題	<p>「生徒が主体的に取り組み、確かな学力を身につける学習指導のあり方」 ～アクティブ・ラーニングを取り入れた学びあう場の充実～</p> <p style="text-align: right;">3年計画の第2年次</p>																												
基本的な日課	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>朝自習</td> <td>8：10 - 8：15</td> <td>昼休み</td> <td>12：50 - 13：05</td> </tr> <tr> <td>短学活</td> <td>8：15 - 8：20</td> <td>5校時</td> <td>13：10 - 14：00</td> </tr> <tr> <td>1校時</td> <td>8：30 - 9：20</td> <td>6校時</td> <td>14：10 - 15：00</td> </tr> <tr> <td>2校時</td> <td>9：30 - 10：20</td> <td>短学活</td> <td>15：05 - 15：15</td> </tr> <tr> <td>3校時</td> <td>10：30 - 11：20</td> <td>清掃</td> <td>15：15 - 15：30</td> </tr> <tr> <td>4校時</td> <td>11：30 - 12：20</td> <td>下校</td> <td>15：30</td> </tr> <tr> <td>昼食</td> <td>12：20 - 12：50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	朝自習	8：10 - 8：15	昼休み	12：50 - 13：05	短学活	8：15 - 8：20	5校時	13：10 - 14：00	1校時	8：30 - 9：20	6校時	14：10 - 15：00	2校時	9：30 - 10：20	短学活	15：05 - 15：15	3校時	10：30 - 11：20	清掃	15：15 - 15：30	4校時	11：30 - 12：20	下校	15：30	昼食	12：20 - 12：50		
朝自習	8：10 - 8：15	昼休み	12：50 - 13：05																										
短学活	8：15 - 8：20	5校時	13：10 - 14：00																										
1校時	8：30 - 9：20	6校時	14：10 - 15：00																										
2校時	9：30 - 10：20	短学活	15：05 - 15：15																										
3校時	10：30 - 11：20	清掃	15：15 - 15：30																										
4校時	11：30 - 12：20	下校	15：30																										
昼食	12：20 - 12：50																												
校歌	<p style="text-align: right;">佐呂間中学校校歌</p> <p>一、連峰はるか雲もえて 光さやけき朝空に 希望あふるる窓あけて 建てるは佐呂間中学校</p> <p>二、湖白く風落ちて 星もほほえむ夕なぎに 幸ある日々をたたえつつ 肩くみかわすわれらなり</p> <p>三、嵐にめげず雪こえて 真実に生きん若人が 唇固く眉あげて 踏みゆく大地下萌えん</p> <p>(昭和二十七年八月二十五日制定)</p>																												

北海道佐呂間高等学校				校		
所在地	常呂郡佐呂間町字北311番地の1			章		
創立年月日	昭和23年11月25日					
沿革	昭和23年11月25日	道立遠軽高等学校佐呂間分校として開校（定時制）				
	昭和26年4月1日	佐呂間村立佐呂間高等学校となる				
	昭和28年4月1日	町制施行により佐呂間町立佐呂間高等学校となる				
	昭和30年4月1日	農業科設置				
	昭和37年4月1日	全日制課程新設				
	昭和39年3月31日	道立移管 北海道佐呂間高等学校となる				
	昭和54年2月28日	定時制閉課				
	昭和55年10月10日	創立30周年記念式典・校舎改築落成記念式典				
	昭和58年3月7日	網走管内教育実践表彰受賞				
	昭和58年9月22日	網走管内社会福祉事業功労賞（団体）受賞				
	昭和59年2月10日	北海道教育実践表彰受賞				
	平成元年12月15日	屋内体育館完成（966.48㎡）				
	平成3年4月1日	全日制普通科1間口減、2間口となる				
	平成10年3月1日	校訓制定				
	平成10年10月18日	創立50周年記念式典挙行				
	平成11年2月7日	平成10年度網走管内教育実践表彰受賞				
	平成13年2月5日	平成12年度北海道社会貢献賞を受賞				
	平成15年4月1日	二学期制導入				
	平成19年11月15日	平成19年度全国学校体育研究優良校表彰受賞				
	平成20年7月3日	北海道教育委員会環境教育プロジェクト校指定				
平成22年6月22日	北海道教育委員会「高1クライシス未然防止事業」指定					
平成26年4月1日	全日制普通科1間口減、1間口となる					
平成27年4月1日	北海道教育委員会より「地域キャンパス校」の指定を受ける					
平成30年4月1日	北海道教育委員会より「地域連携特例校」の指定を受ける					
職員等	校長	渡邊 周一		教諭	菊池 檀	3・A担任(家庭)
	教頭	宮崎 勉		教諭	渡辺 知陽	(英語)
	事務長	小林 薫		教諭	橋本 結衣	(音楽)
	教諭	奥山 輝久	1・A担任(数学)	養護教諭	小川 千佳	
	教諭	関根 哲也	(商業・情報)	養護教諭	松田 有希	(育休)
	教諭	工藤 聡	(保健体育)	事務主任	本間 由己子	
	教諭	内田 耕平	(理科)	公務補	滝口 高志	
	教諭	松重 光悦	2・A担任(社会)	臨時事務職員	大橋 絃子	
	教諭	土佐林 玲奈	(国語)			
生徒数	学年	生徒数	学級数	部活動の状況		
	1年	21	1	テニス	吹奏楽局	
	2年	23	1	バドミントン	放送局	
	3年	29	1	バスケットボール		
	合計	73	3	サッカー		
学校評議委員	安藤 由			西岡 理恵		
	武田 温友			福岡 美亜		
	鈴鹿 保					

P T A	会 長	名 雪 公 洋		副 会 長	石 川 豊	
	会 計	松 本 真 嗣		会 計	小 林 薫	
	監 事	西 岡 理 恵		事 務 局 長	宮 崎 勉	
校 訓	郷湖大地に学び自らの道を拓け					
教 育 目 標	1 自主性を高め、創造的な知性を持つ人となる。 2 豊かな情操を持ち、礼儀正しい人となる。 3 勤労を尊び、奉仕を喜ぶ人となる。 4 生命の尊さを知り、健康でたくましい人となる。					
重 点 目 標	1 社会で生きる力の育成 ～これからの社会を生き抜くための知恵・人間性・体力の向上～ ・基礎的な知識・技能の定着と思考力、判断力、表現力等の総合的な学力を育成する。 ・主体的に学び、課題を見つけ、他者とともに解決していこうとする意欲や姿勢を育成する。 ・豊かな人間性、充実した人生の基盤となる健やかな身体、体力を育成する。 2 自己を実現する力の育成 ～キャリア教育の視点に立った進路指導の充実～ ・職業理解を促し、主体的に自己の進路選択と進路実現ができる能力を育成する。 ・社会人として自己を律し、心身ともに自立できる能力を育成する。 ・多様化した生徒の個性伸長と進路実現に向けて、教育体制の充実を図る。 3 積極的な生き方のできる人間の育成 ～生徒の意欲を喚起する機会の拡充～ ・特別活動や部活動の充実を図り、健康でたくましい心身と豊かな感性を育む。 ・体験的な学習活動を通して価値観や社会性を育み、社会とともに生きる自覚を養う。 4 学校教育をとおしたよりよい社会の実現に向けて ・学校内外で良好な人間関係を築く力を育成する。 ・地域の教育資産の活用や町内小中学校との関係の充実を図る。 ・地域関係特例校における教育活動の充実を図る。					
研 究 主 題	キーワード「プレミアム・スモール 佐呂間高校」 ～小規模校であることの利点を最大限生かす教育活動の実践～					
基本的な日課	SHR	8 : 3 0 ~	8 : 4 0	昼 食	1 2 : 3 5 ~	1 3 : 1 0
	1校時	8 : 4 5 ~	9 : 3 5	5校時	1 3 : 1 0 ~	1 4 : 0 0
	2校時	9 : 4 5 ~	1 0 : 3 5	6校時	1 4 : 1 0 ~	1 5 : 0 0
	3校時	1 0 : 4 5 ~	1 1 : 3 5	SHR	1 5 : 0 0 ~	1 5 : 1 0
	4校時	1 1 : 4 5 ~	1 2 : 3 5	清 掃	1 5 : 1 0 ~	1 5 : 3 0
校 歌	佐呂間高等学校校歌 大いなる 希望を呼びて 雲青く 流るるところ 明るき窓 遠く開き 若き誇り 毅然たる あゝ高校 わが学舎 遙かなる 佐呂間の湖の 水白く 輝くところ 平和の郷 ここに拓き あふるる力 眉上げて あゝ我等 いざ進まん 北の国 空すみわたり 星聖く またたくところ 真理の道 とわにたずね 尊き使命 果たすべく あゝ高き 我等が理想					

学校教育関係団体

○佐呂間町校長会

会 長	副 会 長	事 務 局 長	会 計
佐呂間中学校 久井俊範	佐呂間小学校 平山拓寿	若佐小学校 二神孝久	浜佐呂間小学校 一村操

○佐呂間町教頭会

会 長	副 会 長	事 務 局 長	会 計
浜佐呂間小学校 野田坂正法	若佐小学校 佐々木寿彦	佐呂間小学校 落合利広	佐呂間中学校 椎野高志

○佐呂間町学校教育運営協議会

会 長	事 務 局	備 考
佐呂間中学校 久井俊範	佐呂間中学校	

○佐呂間町特別支援教育推進協議会

会 長	事 務 局	備 考
佐呂間小学校 平山拓寿	佐呂間小学校	

○佐呂間町複式教育研究連盟

委 員 長	事 務 局	備 考
若佐小学校 二神孝久	若佐小学校	

統合校の沿革

○栄小学校（平成18年 若佐小学校へ再編）

栄小学校校歌（作詞：河合義巳・作曲：河本二三夫）	沿	革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>進永黄学め ひ強と高北 明冬岸よ旭 む久金びぐ びくどい斗 けを辺せの 栄のな る まし林想の て忽にての 小しみ実山 なく 希 教ん芽流雪 学あ 脈 のび伸 えだ生れ解 校わ が のびの の不えるの せ山さ 庭行の 花断る佐水 求峡 のく光 開の福呂を めの 鐘道 く努寿間 て郷 に 力草 川 励土 見 け の み せる</p>	<p>明治43年11月1日</p> <p>大正3年6月24日</p> <p>大正4年3月25日</p> <p>大正12年4月5日</p> <p>昭和16年4月1日</p> <p>昭和22年4月1日</p> <p>昭和22年5月1日</p> <p>昭和23年4月1日</p> <p>昭和24年11月1日</p> <p>昭和27年3月31日</p> <p>昭和30年4月1日</p> <p>昭和31年9月30日</p>	<p>沙溜澗教育所所属「下佐呂間教授所」として開設</p> <p>武士教育所付属に所属変更</p> <p>上佐呂間尋常小学校に昇格</p> <p>高等科を併置し上佐呂間尋常高等小学校となる</p> <p>上佐呂間国民学校と改称</p> <p>新学制施行により佐呂間村立上佐呂間小学校となる</p> <p>佐呂間村立上佐呂間中学校を併置</p> <p>分村により若佐村立上佐呂間小中学校となる</p> <p>中学校が若佐中学校に統合し若佐中学校上佐呂間分校となる</p> <p>若佐中学校上佐呂間分校が廃止され上佐呂間小学校となる</p> <p>字名変更により栄小学校と改称</p> <p>佐呂間町との合併により佐呂間町立栄小学校となる</p>

○知来小学校（平成18年 佐呂間小学校へ再編）

知来小学校校歌（作詞：鷲頭信五・作曲：三島通敏）	沿	革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>そ真才ほ 修光群紅 励燃流青 の事ホえ めるれ黄 みえれい 名一ーる 磨夕な 学るも山 称途ツ北 か風く錦 ば朝響垣 えにク風 ん 牛 ん雲く 匂 の 身 知仰学う 潮凍 知に声穂 来ぎび土 る道 来受 校 校見舎 と 校 ける 校 てに ぎ てる てる てる</p> <p>夜も</p>	<p>明治41年1月31日</p> <p>明治41年4月1日</p> <p>大正3年3月1日</p> <p>大正4年9月8日</p> <p>大正4年11月1日</p> <p>昭和16年4月1日</p> <p>昭和22年4月1日</p> <p>昭和22年5月1日</p> <p>昭和28年4月1日</p> <p>昭和41年4月1日</p>	<p>鑑沸簡易教育所分校川口教授所付属「知来第1特別教授所」として開設</p> <p>沙溜澗教育所に所属変更</p> <p>知来教授所に昇格</p> <p>知来尋常小学校に昇格</p> <p>知来尋常小学校と改称</p> <p>知来国民学校と改称、高等科併置</p> <p>新学制施行により佐呂間村立知来小学校となる</p> <p>佐呂間村立知来中学校を併置</p> <p>町制施行により佐呂間町立知来小中学校となる</p> <p>中学校が佐呂間中学校に統合となり知来小学校となる</p>

○仁倉小学校（平成18年 佐呂間小学校へ再編）

仁倉小学校校歌（作詞：大塚 盈・作曲：渡部三郎）	沿	革
	明治36年 9月27日	鑛沸簡易教育所分校「川口教授所」として開設（浜佐呂間）
	明治39年 9月15日	現仁倉に移転
	明治41年 4月 1日	沙溜潤教育所に昇格
	明治43年11月 1日	下佐呂間尋常小学校に昇格
	大正11年 9月20日	補習科併置
	大正15年 4月 1日	高等科を併置し下佐呂間尋常高等小学校となる
	昭和 5年 1月20日	仁倉尋常高等小学校と改称
	昭和16年 4月 1日	仁倉国民学校と改称
	昭和22年 4月 1日	新学制施行により佐呂間村立仁倉小学校となる
	昭和22年 5月 1日	佐呂間村立佐呂間中学校仁倉分校を併置
	昭和24年10月11日	仁倉中学校が分校から独立し仁倉小中学校となる
	昭和28年 4月 1日	町制施行により佐呂間町立仁倉小中学校となる
	昭和42年 4月 1日	中学校が佐呂間中学校に統合となり仁倉小学校となる
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>わあ強た穿 わあ寄光拓 わあ学そ流 れあくぎて れあれるけ れあぶよれに ら果るば らば湖て ら日ぎに わ た力ま わ親水遠 ら毎明沿 れ鍛さを噴 れ敬しをき られ懂のるえ らえん地く ら愛きは友く がて友に見脈 がは友にの窓 仁はよ見の 仁美よ見の末 倉遅わての 倉しわてに 倉られ見 校しれ の 校きれ に 校け て き</p>		

○幌岩小中学校（幌岩中学校 平成11年 佐呂間中学校へ統合）

（幌岩小学校 平成18年 浜佐呂間小学校へ再編）

幌岩小中学校校歌（作詞：大塚 盈・作曲：山口祐功）	沿	革
	明治42年 4月10日	沙溜潤教育所付属「幌岩特別教授所」として開設
	大正13年 9月 日	川口尋常小学校「幌岩特別教授所」となる
	昭和 5年 1月20日	川口尋常小学校の校名改称により下佐呂間尋常小学校付属となる
	昭和 6年 4月 1日	幌岩尋常小学校に昇格
	昭和16年 4月 1日	幌岩国民学校と改称
	昭和22年 4月 1日	新学制施行により佐呂間村立幌岩小学校となる
	昭和26年 4月 1日	下佐呂間中学校幌岩分校を併置
	昭和28年 4月 1日	幌岩中学校が分校から独立、中佐呂間中学校浪速分校を統合し幌岩小中学校となる 町制施行により佐呂間町立幌岩小中学校となる
	昭和52年 4月 1日	浪速小学校を統合
	平成11年 4月 1日	中学校が佐呂間中学校に統合となり幌岩小学校となる
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>賢ゆ岸広 高枝四学 若み恵朝 きう辺き きを季び きどみ霧 業べのこ 理結のの はりのは を清あこ 想びあ庭 のひれ らやろ をてらの し 丘かし 誓なめは し にり う鐘群さ 目天にボ 歌 うこあ山 りわれろ 指を プ うなまきに り牛ま すつきく木 りいら りに湖 なきまは さけ の のり ましく みく</p>		

○富富士小学校（平成18年 佐呂間小学校へ再編）

富富士小学校校歌（作詞：大塚 盈・作曲：松田喜一）	沿	革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>わ富強松雲 わ富清峠丘 わ富遠朝海 れ武いのを れ武いにの れ武いのに ら士身緑か ら士信雲牧 ら士望潮続 は 体がむ は よも場 は みが 果富よ 協富 学富よ ぶ武寄 士あ 湖 た武 冴た す武友湧 ぶ武 寄 士あ 湖 す士心え う 士愛い草 新しあ 士あ 湖 ゆあよ りあ しあ しあ 湖 るあ わあ くあ くあ 湖 ぎこ しこ ここ ここ 湖 なく くこ ここ ここ 湖 </p>	<p>大正 4年 4月 1日</p> <p>昭和 3年 4月 1日</p> <p>昭和16年 4月 1日</p> <p>昭和18年 4月 1日</p> <p>昭和22年 4月 1日</p> <p>昭和22年 5月 1日</p> <p>昭和24年10月11日</p> <p>昭和28年 4月 1日</p> <p>昭和41年 4月 1日</p>	<p>中佐呂間尋常小学校所属「富富士分教所」として開設</p> <p>富富士尋常小学校に昇格</p> <p>富富士国民学校と改称</p> <p>高等科を配置</p> <p>新学制施行により佐呂間村立中佐呂間中学校富富士分校を併置</p> <p>佐呂間村立中佐呂間中学校富富士分校を併置</p> <p>富富士中学校が分校から独立し富富士小中学校となる</p> <p>町制施行により佐呂間町立富富士小中学校となる</p> <p>中学校が佐呂間中学校に統合となり富富士小学校となる</p>

○若里小学校（平成18年 佐呂間小学校へ再編）

若里小学校校歌（作詞：大塚 盈・作曲：山口祐功）	沿	革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>興勤新明 剛澆生傾 高大明潮 す労な日 き刺気れ きいかな ものりを ものあ射 もなるる の のりす のるか 勤わぶ 澆 りひ こ こ刺わ清 こ大 ろ このら若 このれき こいわ き に に なら 湖 創 鍛 学 ら ら え ば 若 ん ん 行 里 </p>	<p>明治43年 7月22日</p> <p>大正 4年 7月 5日</p> <p>大正12年 7月 1日</p> <p>昭和16年 4月 1日</p> <p>昭和22年 4月 1日</p> <p>昭和22年 5月 1日</p> <p>昭和25年11月15日</p> <p>昭和26年 8月 1日</p> <p>昭和28年 4月 1日</p> <p>昭和40年 4月 1日</p>	<p>下湧別村芭露尋常小学校所属「床丹特別教授場」として開設</p> <p>計呂地教育所に所属変更</p> <p>床丹尋常小学校に昇格</p> <p>床丹国民学校と改称</p> <p>新学制施行により下湧別村立床丹小学校となる</p> <p>中学校を併置</p> <p>下湧別村との村界変更により佐呂間町に編入、佐呂間村立床丹小中学校と改称</p> <p>字名変更により若里小中学校と改称</p> <p>町制施行により佐呂間町立若里小中学校となる</p> <p>中学校が佐呂間中学校に統合になり若里小学校となる</p>

○若佐小学校（平成18年 若佐小学校再編）

若佐小学校校歌（作詞：小林幸雄・作曲：大野恒一）	沿	革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>わみ澄樹 わ清心武 わみ緑朝 れんみ花 れくの士 れんに空 らなむの ら素ちの らな映あ の仲ゆひ の直り流 の明えお 若よくか 若にをれ 若るるく 佐く心る 佐 佐い 佐風 小学正歌 小学びい清 小学元呂か 校しとの 校ゆさく 校気間お いし庭 くり な山り 子てに 子 子</p>	<p>明治41年 6月 1日</p> <p>大正 3年 4月 27日</p> <p>大正 3年 9月 5日</p> <p>大正 5年 5月 10日</p> <p>大正 9年 4月 6日</p> <p>昭和16年 4月 1日</p> <p>昭和22年 4月 1日</p> <p>昭和22年 5月 1日</p> <p>昭和23年 4月 1日</p> <p>昭和23年 6月 23日</p> <p>昭和24年 11月 1日</p> <p>昭和31年 9月 30日</p> <p>昭和61年 4月 1日</p>	<p>下佐呂間尋常小学校所属「猿澗教授場」として開設</p> <p>武士教育場に昇格</p> <p>武士尋常小学校に昇格</p> <p>補修科併置</p> <p>高等科を併置し、武士尋常高等小学校となる。</p> <p>武士国民学校と改称</p> <p>新学制施行により佐呂間村立武士小学校となる</p> <p>佐呂間村立第2中学校を併置</p> <p>分村により若佐村立武士小中学校となる</p> <p>若佐小中学校と改称</p> <p>併置中学校分離独立</p> <p>佐呂間町との合併により佐呂間町立若佐小学校となる</p> <p>栃木小学校を統合</p>

○佐呂間小学校（平成18年 佐呂間小学校再編）

佐呂間小学校校歌（作詞：大塚みつる・作曲：千葉日出城）	沿	革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>雄競貫白 新海求湖 みき望朝 しいけ権 たにめ んよめ霧 い励 なつよ湖 なうよ 朝 意め佐白 潮ら のも 朝 気ば呂権 をな佐う 夢流佐霧 が 間 る呂つ をれ呂 冬小ふ 寄 間 る間晴 燃の学ぶ せさ小空 呼 小れ え日校く てざ学 ん青学 る ても く波校 で雲校 山 くる るが いが る</p>	<p>明治40年 6月 15日</p> <p>明治41年</p> <p>大正 2年 9月 1日</p> <p>大正 4年 4月 1日</p> <p>大正 7年 5月 25日</p> <p>大正12年 4月 5日</p> <p>昭和 2年 4月 3日</p> <p>昭和16年 4月 1日</p> <p>昭和22年 4月 1日</p> <p>昭和26年 8月 1日</p> <p>昭和28年 4月 1日</p>	<p>鑑沸簡易教育所分校川口教授所の第一特別教授所として開設</p> <p>沙溜澗教育所所属第一特別教授所と改称</p> <p>中佐呂間尋常小学校に昇格</p> <p>中佐呂間尋常小学校所属富武士教授場設置</p> <p>中佐呂間尋常小学校と改称</p> <p>中佐呂間尋常高等小学校と改称</p> <p>中佐呂間尋常小学校所属富武士教授場が特別教育規定により独立</p> <p>小学校令改正により、常呂郡中佐呂間国民学校となる</p> <p>学制改革により常呂郡佐呂間村立中佐呂間小学校と改称</p> <p>常呂郡佐呂間村立佐呂間小学校と改称</p> <p>町制が施行され、常呂郡佐呂間町立佐呂間小学校と改称</p>

○若佐中学校（平成18年 佐呂間中学校へ統合）

若佐中学校校歌（作詞：大塚 盈・作曲：松田喜一）	沿	革
<p>三 二 一</p> <p>若承明う夕 若通まひ風 若求望はみ 佐け日る映 佐といこびの 若佐めあるは つあわえの 来ととき木 若ききれか 若ぎれしの 若てあ合々 若てな 佐てや 佐れう 若湖り 雲 雲 我 道 我と 湖 中我とこ燃 中等風こに 中等明こ湖 学等新こ燃え 学と清このよは 等たに愛立 等磨かしくせよは 等創らん 等磨かしくせよは 等創らん 等磨かしくせよは</p>	<p>昭和22年 5月 1日</p> <p>昭和22年 7月 17日</p> <p>昭和23年 4月 1日</p> <p>昭和23年 6月 23日</p> <p>昭和24年 11月 1日</p> <p>昭和27年 3月 31日</p> <p>昭和31年 9月 30日</p>	<p>佐呂間村立第2中学校として開校（若佐小学校に併置）</p> <p>武士中学校と改称</p> <p>分村により若佐村立武士中学校となる</p> <p>若佐中学校と改称</p> <p>単置校となり上佐呂間中学校を統合（分校として所属）</p> <p>上佐呂間分校廃止</p> <p>佐呂間町との合併により佐呂間町立若佐中学校となる</p>

○浜佐呂間中学校（平成18年 佐呂間中学校へ統合）

浜佐呂間小中学校校歌（作詞：坂本 亮・作曲：津田 甫）	沿	革
<p>三 二 一</p> <p>こ描よく夕 こ築はオ澄 こ学あ朝イ のころれや のこばホみ のぼかかワ うこなけ うたしわ うるぜケ よびいの よくツた よいにシ い花に雲 いゆくの 丘しひそ 丘咲あ雲 のかぞの 丘かとよ山 のくふそを のなみ遠に のなみぐが 学夢るるう 学校里をい 学としか 校を胸サして 校を仰汐れて 校知しか でにロマ みんない みんない みんない みんな 湖</p>	<p>大正 4年 4月 1日</p> <p>大正 13年 5月 7日</p> <p>昭和 5年 1月 20日</p> <p>昭和 5年 4月 7日</p> <p>昭和 16年 4月 1日</p> <p>昭和 22年 4月 1日</p> <p>昭和 22年 5月 1日</p> <p>昭和 28年 4月 1日</p> <p>昭和 30年 7月 1日</p>	<p>下佐呂間尋常小学校所属「川口教授所」として開設</p> <p>川口尋常小学校に昇格</p> <p>下佐呂間尋常小学校と改称</p> <p>高等科を併置し下佐呂間尋常高等小学校となる</p> <p>下佐呂間国民学校と改称</p> <p>新学制施行により佐呂間村立下佐呂間小学校となる</p> <p>佐呂間村立下佐呂間中学校を併置</p> <p>町制施行により佐呂間町立下佐呂間小中学校となる</p> <p>字名変更により浜佐呂間小中学校と改称</p>

社 会 教 育

社会教育目標

人生80年時代を迎え、ゆとりと活力に満ち、健やかに過ごしたいという町民の共通の願いがあります。このことから、文化・スポーツなどを通じて生きがいを創造し、豊かな地域づくり・人づくりを目指して主体的に学習実践する町民の育成に努めるため、この社会教育目標を制定します。

人々を 地域を 夢を育む サロマの未来

【知】 未来を語り ともに学び 自ら創り出す サロマ人に

「人は地域を造り、地域は人を作るがごとし」と言われ、先人の知恵を媒体に、個人は生きて働く力を持つ必要があります。現実を踏まえつつも、未来に夢を抱き、ともに学び続ける意欲を形成することによって時代の変化に対応できる資質の向上を図り、創造する人間像を目指すものです。

【情】 自然を愛し 人を愛し ふるさとを愛する サロマ人に

郷土に生きる喜びを、ともに分かち合い、心豊かで潤いのある社会生活の維持向上のため自然や人々との触れ合いを大切にするとともに、郷土芸能や伝統文化等を介して情操豊かにして、温か味のある人類愛を創造する人間像を目指すものです。

【意】 汗を尊び ぬくもりのある 地域づくりを目指す サロマ人に

勤労を喜びとし、自己啓発をはかり、日々の生活に生きがいを感じ、ゆとりと充実の中に、住民一人ひとりが地域に目覚め、地域とともに成長することを願い、地域に根ざした諸活動への積極的な参加を通して、地域づくりを創造する人間像を目指すものです。

【体】 大地とともに生き たくましく躍動する サロマ人に

大自然の豊かな恵みを受け、心身ともに健康で明日を夢見る生活環境を構築するため、健全な心身への関心をもち、日常的に運動に参加し、スポーツの生活化をはかり、生き生きと健康で長生きのできる社会を創造する人間像を目指すものです。

(平成8年2月1日制定)

■ 解 説

緑豊かで、朝陽に輝く湖、風光明媚な郷土で先人達は、1世紀にわたって己に夢を抱きロマンを求め不屈の開拓精神を駆使し、今日的な活気のある佐呂間町の繁栄を築きあげてきました。この先人の残した貴重な伝統を受け継ぎ、21世紀に羽ばたく町民像を創造し、来るべき社会にふさわしい町民の意識や行動の変容が期待されています。

そして町民憲章の英知と友愛と勇気の花の響きは大きな夢に波及し、人々に生き甲斐と潤いを持たせ、佐呂間町に「住みたい」、「住んでよかった」という未来のサロマを強く希求します。特に今日的課題である『人間性の欠如』に関わって、佐呂間町特有の大自然の優しさ・厳しさを媒体に人々を育み、高い知性とあふれる創造力を以て思いやりや、たくましいサロマ人としての誇り高い町民像を目指したものです。

■ 推進目標

- 乳幼児教育 親と子の健やかな愛を育む、乳幼児教育の推進
- 少年教育 たくましく豊かな心を育む、少年教育の推進
- 青年・成人教育 潤いと豊かな明日を創る、青年・成人教育の推進
- 高齢者教育 健康で生きがいのある、高齢者教育の推進

■ 解 説

人間は生涯にわたって発達するものであり、発達段階にふさわしい教育目標を設定し、その具現化のために、人的・物的な諸条件を整備充実することにより望ましい人間が形成されるという仮説を立て、方向目標として制定したものです。各目標は、佐呂間町ばかりでなく、広く今日的課題として考察し、未来に希求するサロマの人間像として示したものです。特に、21世紀は心の時代ともいわれ、各発達段階において、必要課題や要求課題を十分に検討し、達成目標を掲げ施策を試みる必要があります。町民の意識では、全体として、『健やか・逞しさ・潤い・生き甲斐』を求めていることを踏まえ、町民のニーズに応える内的要求・外的要求を組み合わせながら人間性豊かな人格を形成することを目指しています。

■ 第7次社会教育中期計画のキーワード

◎「寿世代」

(佐呂間町の社会教育において、60歳以上の世代を呼称する。)

皆長寿社会が定着し、あらゆる方面で、「寿世代」の存在感が増しています。

今後、生産現場に限らず、ふるさとづくりにおいても、「寿世代」が培った知識・技能を活かすことが期待されています。

◎「居場所」

すべての人が、生き活きと暮らすために、家庭・地域・学校・職場など様々なところで、一人ひとりの「居場所」が必要です。

子どもから「寿世代」まで、あらゆる世代の「居場所」づくりが求められています。

◎「双方向」

社会が大きく変遷する中、人間関係の希薄化が進み、5年前の東日本大震災以降「絆」やより強い人の繋がりが求められています。

「双方向」からの、情報の共有や交流事業を推進し、「学び合う、育ち合う、高め合う」関係をつくる事が必要です。

■ 第6次社会教育中期計画のキーワード

『絆』

・今の時代背景の中で、過疎・少子高齢社会が「限界集落」を、経済不況・人間関係の希薄化が「無縁社会」をつくり出し、一方家庭では介護・育児における家庭の在り方、親子の在り方が大きな問題になっています。

誰もが安心して暮らせるために「支え合う、助け合う、つながり合う」、人と人との強い「絆」で結ばれた社会の構築が求められます。

『環 境』

・地球規模の大きな気候変動が私たちの身近な暮らしにも深刻な影響を与えています。郷土（ふるさと）の豊かな自然を、恵まれた環境を確かなものとして未来に引き継ぐことが私たちの責務であり、そのことが、かけがえのない地球を、かけがえのない生命（いのち）を守ることとなります。

『人間力』

・住民の「ビジョン（夢）」、「パッション（情熱）」、「アクション（行動）」によって地域は創造されてきました。多くの課題に取り組まなければならないこれからの地域づくりには、今まで以上に一人ひとりの力が求められています。自ら学び成長することが地域の成長になり、たくましい地域をつくりあげることとなります。

■ 第5次社会教育中期計画のキーワード

『協 働』

・「連携から協働へ」これまで培ってきた関係をさらに深め、協力の上の事業の推進、創造することが重要になります。

そのために民の力（地域力）を育成し、活用することが必要です。

『情 報』

・情報を発信する・受信する・発信させる、情報の収集・的確な選択等の「情報力」を強化する必要があります。情報を共有することにより、学習活動を円滑・活発にし、また情報の集積がさらなる情報の創造につながります。

『人育て』

・時代・社会が大きく変革する中、これからの地域づくりには、住民一人ひとりの力が不可欠です。

「人づくり」が社会教育の基本であることを再確認し、「学びの場」「育ての場」の提供を積極的に行う必要があります。

平成31年度 社会教育関係事業

領域		子育て					
課題		○子育て支援センターの利用率を高める必要がある。 ○父親の子育てへの意識を高める必要がある。 ○親同士が繋がり合える場が必要である。 ○電子メディアやSNSの危険性に対する知識を向上させる必要がある。 ○地域社会の子育て意識を高める必要がある。					
方向性		○子育て支援事業の充実と情報発信の工夫 ○子育て支援センターの有効活用 ○親同士が繋がり合える場の提供 ○電子メディアやSNSについて学ぶ機会の提供 ○地域で子育ての情報を共有する機会の充実					
係	事業名	趣 旨	対 象	期 日	開催場所	人数	備 考
社教	あいあいらんど	乳幼児期の子どもと親を対象に、家庭ではなかなかできないことや四季折々の行事を体験することで、子どもたちの集団生活への適応性・コミュニケーション能力の向上、親同志の交流を推進する。	未就学児とその親	①7/3 ②7/11 ③8/4 ④10/2 ⑤12/18 ⑥1/22	①町民わか ②わか保育所 ③流水公園 ④町民わか ⑤町民わか ⑥スキー場	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	子育て支援センター、社会教育課、保健福祉課共催 (①流しそうめん、②ミニコンサート、③バス遠足、④親子クッキング、⑤クリスマス会、⑥雪中運動会)
社教	お話あいあい	乳幼児期の子どもを持つ親を対象に、子育てに関する情報を提供することで子育てに対する不安の軽減を図るとともに、子育てについてともに考える仲間づくりを推進する。	未就学児とその親	①5/15 ②6/5 ③7/11 ④8/22 ⑤9/11 ⑥11/13 ⑦2/5	子育て支援センター (⑥はスター)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	子育て支援センター、社会教育課、保健福祉課共催 (①②産の大切さ、③④救急処置法、⑤着葉を育むかわり方、⑥親子触れ合い体操、⑦読み聞かせ)
社教	家庭教育学級	親(地域住民)が子育ての知恵を得たり、子ども達にとって望ましい地域環境づくりを進めるための学習機会の場として、学校地域内を中心に開催する。	町内小中学校	随時	各学校等		講師謝礼及び消耗品費を教育委員会が支出上限額 ・講師謝礼(年間)20,000円 ・消耗品費(年間)5,000円
社教	家庭教育講演会	家庭教育の重要性を再認識させ、地域の教育力の向上を図る。	乳幼児・児童生徒を持つ親、祖父母ほか	11/22	町民センター		町P連研究大会に合わせて実施。 (町P連、家庭教育推進会議と共催) 講師：写真家 横塚真己人 氏
社教	子育て講座	町内の親子等が協力して地域の産業などについて学び、地域の食、いのちの大切さ、家族のふれあいなどについて、学ぶ機会を提供する。	乳幼児・児童生徒とその親、祖父母ほか	未定			企画内容は家庭教育推進会議で検討(家庭教育推進会議と共催)
社教	家庭教育推進会議	地域ぐるみで子育てを行う意識を高め、また地域の力を生かして子育て事業の展開を図る。	子育て支援団体、PTA、ｽｰｯ少年団、保健師、子育て支援センター、社会教育課等	年4回程度	町民センター等		
ｽｰ	元気アップ運動ひろば	武道館の空き時間とスペースを活用し、各種トレーニングや卓球、運動遊び等による健康づくりの場を提供する。	乳幼児・小学生(保護者同伴)～成人	毎週火曜日～日曜日	武道館	—	*火曜日・木曜日10:00～18:00 *水曜日・金曜日10:00～21:00 *土曜日・日曜日10:00～17:00 *武道館開放事業 *スター事業、武道利用、その他団体使用時は中止
図書	ブックスタート	(詳細「図書館」領域に掲載)					

領域		育ち					
課題		<ul style="list-style-type: none"> ○地域社会との繋がりを深める必要がある。 ○主体性や自立性を高める必要がある。 ○事業への参加意識を高める必要がある。 ○電子メディアやSNSの危険性を学ぶ必要がある。 ○学校教育との連携が必要である。 ○世代間交流による学びが必要である。 ○郷土の人材や資源を活用した体験学習が必要である。 					
方向性		<ul style="list-style-type: none"> ○事業内容の充実と情報発信の工夫 ○事業に参加しやすい環境の整備 ○電子メディアやSNSについて学ぶ機会の提供 ○学校との連携・協働 ○世代間交流の充実 					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	サイエンス・キャラバン	様々な科学実験を体験することで、子どもたちや一般市民に科学への関心が高まることを目指す。	全市民	2/16	町民センター		子ども会育成会連絡協議会共催 かまくら書まつりと同日開催
社教	子育て講座	(詳細「子育て」領域に掲載)					
社教 社体	わんぱく広場	地域の身近な自然・人材を活用することにより、ふるさとに対する愛着心の向上を促すとともに、各種体験活動を通じ、学校間、異年齢間の交流を図る。	小学4～6年生	①7/30～8/1 ②冬季	①町民センター 他 ②未定	① ②	①宿泊交流体験(2泊3日) ②ニュースポーツ(予定)

領域		学び					
課題		<ul style="list-style-type: none"> ○「学び」の多様化・個別化に対応した、学習機会の提供が必要である。 ○「学び」を地域づくりに活かす必要がある。 ○「学び」への関心や意欲を高める必要がある。 ○社会教育関係団体の育成と支援が必要である。 ○女性の「学び」の環境整備が必要である。 ○情報提供の充実と「双方向」の情報共有が必要である。 					
方向性		<ul style="list-style-type: none"> ○「学び」の成果による地域貢献 ○「学び」の喚起を促す ○社会教育関係団体の育成と支援 ○社会参加の促進(女性・青年・寿世代) 					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	佐呂間高校開放講座	生涯学習の観点から地域の教育機関と連携し、町民の学習機会の拡充を図る。	成人	未定	佐呂間高校		佐呂間高校と共催
社教	町民講座「夢工房」	町民が心豊かな生活を送れるよう、また多様な学習要求に応える機会を提供し、学習意欲の向上と日常化を促す。併せて、町内の指導者を活用し新たな人材の育成を図る。	成人	未定	未定		
社教	寿大学	(詳細「生きがいつくり」領域に掲載)					

領域		生きがいつくり					
課題		<ul style="list-style-type: none"> ○寿世代の知識・技能を地域に活かす必要がある。 ○学習活動・団体活動への参加促進と、参加のための環境整備が必要である。 ○社会参加に繋がる学習機会の提供が必要である。 ○世代・分野を越えた交流の場が必要である。 ○情報の共有ときめ細やかな情報提供が必要である。 					
方向性		<ul style="list-style-type: none"> ○寿世代の社会資源としての活用 ○団体活動への支援、活動環境の整備 ○生涯学習を通しての社会参加 ○世代間・分野間の交流事業 					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	寿大学	高齢者の生きがいつくりに寄与するとともに、高齢者の持つ豊富な経歴や能力の活用を図る。	60歳以上	4～3月 全21回	町民センター 他	学生数112名 (4月3日現在)	
スー	冬期健康プログラム らくらく健康カフェ 「なごみ」	(詳細「健康づくり・スポーツ」領域に掲載)	町民	1月7日(火)～ 3月17日(火)	和室	なし	*毎週火・木曜日 全19回 *10:00～16:00 ※「元気アップおやこスクール」にも合わせて開催(2/15・22・29)
社教 社体 スー 図書館	事業講師の活用	町民の社会参加の場づくり、生きがい作りの視点から、社会教育事業の講師・協力者として、積極的に町民の協力を得ながら、事業展開をする	町民	随時			お話あいあい、あいあいらんど、子育て講座、わんぱく広場、寿大学、水泳教室、人形劇公演等で町民に講師等の協力を得ながら事業実施

領域		健康づくり・スポーツ					
課題		<p>○子どもたちの日常生活における運動習慣の定着が必要である。</p> <p>○指導者の育成・発掘や、資格取得・更新への支援が必要である。</p> <p>○多様な事業展開のための指導職員の充実が必要である。</p> <p>○事業PRの促進、団体・サークル活動の情報発信が必要である。</p> <p>○障害を持つ方が施設を利用しやすい体制づくりが必要である。</p>					
方向性		<p>○ライフステージに合わせた運動支援の充実</p> <p>○指導体制の充実と指導者の育成・支援</p> <p>○情報発信の充実</p>					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社体	町技奨励事業 「町長杯ソフトボール大会」	町技であるソフトボールの普及奨励を図る。	全町民	8月予定	総合グラウンド	雨天中止	企画・運営 ソフトボール協会
社体	ワカ湖100kmウルトラマラソン	今年第34回目を迎えるワカ湖100kmウルトラマラソン。湧別町を5時にスタートし雄大なワカ湖を望みながらワカ湖の北見市常呂町を目指します。(50kmの部は100年広場10時スタート)	成人	6月30日	北見市常呂町 佐呂間町 湧別町		ワカ湖100kmウルトラマラソン実行委員会 エントリー数 100kmの部 3,531人 50kmの部 542人 合計 4,073人 *申込み受付時点
社体	出前講座	学校での運動事業に対し、スポーツ推進委員を派遣し、新しいスポーツの体験や交流を図る。	小学生	随時			学校と協議し実施予定
社体	スターまつり	スポーツ推進委員が企画運営し委員活動の活性化及び施設の利用促進並びに町民相互の交流を図る。	全町民	10月14日 体育の日	スター		スターを無料開放(全町民対象) 体力測定、ニュースポーツ、運動体験、水中ゲーム、絵本読み聞かせ
社体	スポーツ振興助成	本町のスポーツ振興に寄与するスポーツ団体・個人に対し助成を行い、町民の心身の健全な発達とスポーツ意識の高揚を図る。	全町民	随時			全道大会、全国大会、選抜大会参加経費の一部を助成
社体	スポーツ表彰	スポーツの振興に寄与した者及び優秀な成績を収めた者を表彰する。	全町民	10月14日 体育の日	スター (武道館)		・スポーツ功労賞 ・スタースポーツ奨励賞 ・スポーツ特別賞
社体	学校開放事業	本町のスポーツ振興のため学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し、地域住民の健康増進及びコミュニティ形成に寄与する。	全町民	随時	各小中学校		現在利用団体 佐呂間：バレー、野球、ミニバス、フットサル 若佐：ミニバス、ソフトボール、ミニバス 浜佐呂間：ミニバス、バドミントン、剣道
社体 スター	さるま健康づくり講座	スターの施設を活用した健康づくり講座を外部講師を招き開催	成人	全6回 11月～12月	武道館及び 温水プール		未定
			高校生以上	※日程未定	武道館及び 温水プール	30名	※テーマ・内容 未定
社体 スター	からだはぐくむスクール 「ちびっこスキー教室」 「元気アップおやこスクール」	就学前児童に対し、就学に備えた体力づくりとスポーツの楽しさを理解させる。	R2年度新1年生	全3回土曜日 1/18～2/1	町営スター場	約30名	○スター教室 全3回 ※事業協力：スキー協会、スポーツ推進委員外
				全3回 2/15～2/29	武道館	約20名	○発育・発達運動教室 全3回 *毎週土曜日 *13:30～14:15 ※事業協力：スポーツ推進委員外
社体 スター	冬期健康プログラム 「こども運動教室」	小学生の運動能力と挑戦する気持ちを引き出す。	小学1～6年生	1月15日(水)～ 3月6日(金)	武道館	定員 25名	*毎週水・金曜日 全16回 *16:00～17:00 ※事業協力：スポーツ推進委員外
スター	元気アップスイミング 「ちびっこコース」	施設の利用方法やプールにおける約束事の確認をしながら初歩の水泳を学ぶ。	H32年度新1年生	【Aコース】(水) 7/17・24・31 【Bコース】(木) 7/18・25・8/1	温水プール	定員 20名	*Aクラス 16:30～17:20 *Bクラス 16:30～17:20 ※事業協力：水泳指導員外
スター	元気アップスイミング 「ジュニアスイミング コース」	各レベルに応じた段階的指導を行い、楽しみながら水泳を学びプールが好きになる教室運営を目指す。	小学1～3年生	5月8日(水) ～ 7月12日(金)	温水プール	定員 60名	*指導内容：水なれ～クロール息継ぎ *各クラス定員10名(10回コース) Aクラス)水曜日16:00～16:50 Bクラス)水曜日17:00～17:50 Cクラス)木曜日16:00～16:50 Dクラス)木曜日17:00～17:50 Eクラス)金曜日16:00～16:50 Fクラス)金曜日17:00～17:50 ※事業協力：水泳指導員外

ｽﾀｰ	元気アップスイミング 「ジュニアスイミング& 体幹トレーニングコース」	陸上でのトレーニングと水泳を組み合わせ、総合的な運動能力向上と泳力の向上を目指す。	小学4～6年生	8月22日(木) ～ 10月25日(金)	武道館及び 温水プール	定員 20名	*指導内容:陸上での体幹トレーニング(発育発達運動)及び水泳の各種泳法 *10回コース *木曜日16:00～17:30 (Gr未習得クラス) *金曜日16:00～17:30 (Gr完泳クラス) ※事業協力:水泳指導員外
ｽﾀｰ	元気アップスイミング 「マスターズスイミング コース」	水中運動及び水泳の各種泳法クラスを設定し、目的に合わせた健康維持・増進を図る。	中学生以上	①5月8日(水) ～7月11日(木) ②8月21日(水) ～10月24日(木)	温水プール	各10名	*水曜日)19:00～19:45(各10回) ①水中運動(初心者～初級者) ②水中運動(初心者～初級者) *木曜日)19:00～20:00(各10回) ①各種泳法(初級者～中級者)クロール ②各種泳法(初級者～中級者)背泳ぎ ※事業協力:水泳指導員外
ｽﾀｰ	冬期健康プログラム トレーニングミニ講座	気軽に参加できる各種トレーニングに関する講座を開催し、町民の健康維持・増進と施設の利用促進を図る	高校生以上	1月8日(水)～ 3月12日(木)	トレーニングルーム 武道館 他	各5～10名	ストレッチング、コンディショニング、筋力運動、ウォーキング等のミニ講座 *水曜日)19:00～19:40 *木曜日)14:30～15:10 *テーマについては事前告知(夢通信、館内配布カレンダー等)
ｽﾀｰ	元気アップ運動ひろば	武道館の空き時間とスペースを活用し、各種トレーニングや卓球、運動遊び等による健康づくりの場を提供する。	乳幼児・小学生 (保護者同伴) ～成人	毎週火曜日 ～日曜日	武道館	—	*火曜日・木曜日)10:00～18:00 *水曜日・金曜日)10:00～21:00 *土曜日・日曜日)10:00～17:00 *武道館開放事業 *スター事業、武道利用、その他団体使用時は中止
ｽﾀｰ	パーソナル指導	利用者の目的に合わせた各種トレーニング及び水泳・水中運動の個人指導	幼児 ～ 成人	5月8日(水) ～3月31日(火)	温水プール トレーニングルーム 会議室 他	1～3名	*事前予約制 *月2回まで申込み可(但し、プールでの指導はシーズン中1人6回まで) *陸上でのトレーニング指導は小学生以上
ｽﾀｰ	指導者派遣事業	指導者派遣依頼・教室開催要望等へ対応	—	通年	スター 他	—	*1団体につき年間3本まで
ｽﾀｰ	冬期健康プログラム 「らくらく健康体操」	中高齢者向けに健康体操教室を実施する。	成人 (高齢者向け)	1月7日(火)～ 3月17日(火)	武道館	なし	*毎週火・木曜日 全19回 *13:30～14:15
ｽﾀｰ	冬期健康プログラム 「らくらく健康カフェ」 和(なごみ)	メンタルヘルス向上を目的とした交流促進事業	町民	1月7日(火)～ 3月17日(火)	和室	なし	*毎週火・木曜日 全19回 *10:00～16:00 ※「元気アップおやこスクール」にも合わせて開催(2/15・22・29)
ｽﾀｰ	日本水泳連盟認定泳力検定会	日本水泳連盟認定の泳力検定を通じて、水泳技術の向上を図る。	小学生以上	①7月26日(金) ②10月25日(金)	温水プール	—	*18:30～19:30
ｽﾀｰ	水泳指導者講習会	水泳の指導理論及び指導実技研修	町内水泳指導員	5月11日(土) 予定	温水プール 他	—	*外部講師依頼(ニサカ 伊地知氏予定) *10:00～12:00

領域		情報・制度					
課題		○SNSなどを活用した更なる情報力の向上が必要である。 ○発信する情報をより利用してもらえる工夫が必要である。 ○これまでの「発信する・発信させる」に「受信させる」視点を加える必要がある。 ○ニーズに適した学習支援制度の整備・見直しが必要である。					
方向性		○情報発信と運営体制の充実 ○学習活動支援制度の充実					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	教育委員会だより「夢通信」発行	生涯学習に関する啓もう・啓発のための広報活動を展開する。	全町民 (広報折り込み)	毎月			各学校を通じ、学校教職員に配布
社教	遠軽地区学習支援ネットワーク事業「なな・なんと情報」	遠軽地区各町村事業の情報を広く周知することにより、住民の学習機会の拡大を図る。	全町民 (広報折り込み)	偶数月			遠軽地区教育委員会協議会主催事業 (H31編纂担当 湧別町)
社教	地域学習活動支援事業「まなびすと」	住民からの学習要望に対し必要な支援を行うことにより、住民の自発的な学習意欲の向上、学習機会の拡大を図り、地域生涯学習の充実・促進を図る。	町内で5人以上で組織する団体	随時			
社教	サポーターバンク	町民の多様な自主的生涯学習活動を奨励、支援し、生涯学習活動の普及発展を図るとともに、町民が永年にわたって蓄積した知識、技能等を地域社会に還元する人材の発掘により社会参加を促進する。	全町民	随時		現在登録数 個人： 名 団体： 団体	
社教	芸術文化表彰	(詳細「芸術・文化」領域に掲載)					
社教	芸術文化支援事業	(詳細「芸術・文化」領域に掲載)					
社体	スポーツ表彰	(詳細「健康づくり・スポーツ」領域に掲載)					
社体	スポーツ振興助成	(詳細「健康づくり・スポーツ」領域に掲載)					
図書	新着図書情報	(詳細「図書誌」領域に掲載)					
図書	図書館だより「こちら左区間町立図書館です。」	(詳細「図書誌」領域に掲載)					
社教 社体 スタ 図書	インターネットを活用した情報提供	町ホームページなどを活用しながら情報発信を行う。	全町民	随時			

領域		団体支援			
課題		○連盟・協会に属さない団体・サークルの把握・支援が必要である。 ○団体の活動内容の周知が必要である。 ○団体・後継者の育成・支援が必要である。			
方向性		○団体・サークルの育成・支援 ○情報収集・提供の充実 ○リーダー育成を目的とした学習機会の充実			
係	団体名	趣 旨	予算額	交付額	備 考
社教	子ども会育成会連絡協議会	各種事業・研修会の実施、子どもたちの健全育成、リーダーの育成、さらには地域の教育力の向上など、町内の単位子ども会の活動を推進するため、町内の子ども会育成会で組織する「子ども会育成会連絡協議会」に対し支援する。(単位子ども会育成会 7団体)	464,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、スポーツ交流会、サロシキアパソの開催等
社教	P T A 連合会	親と教師が相互に連携し、研修会への参加や研究大会の開催、地域の教育力の向上など、町内の小、中学校及び高校の P T A で組織する「P T A 連合会」の活動に対し支援する。	145,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、町 P 連研究大会、教育懇談会等
社教	文化連盟	町民に成果を発表、鑑賞する機会を提供し、地域の芸術文化の振興に寄与するなど、本町の文化活動の中心となる活動している「文化連盟」の活動に対し支援する。	549,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、総合文化祭開催、リーダー研修等
社体	佐呂間町スポーツ協会	佐呂間町のスポーツの普及並びに団体の活性化を図るため、教室の開催や加盟団体との連携を図っている「佐呂間町体育協会」の活動に対し支援する。	1,200,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、町内大会後援等
社体	スポーツ少年団本部	佐呂間町の少年スポーツの普及並びに活性化を図るため、教室の開催や加盟団体との連携を図っている「スポーツ少年団本部」の活動に対し支援する。	383,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、講習会への支援等

領域	芸術・文化						
課題	<p>○『芸術文化支援事業』の周知と定着・発展が必要である。 ○芸術・文化活動の人材の育成が必要である。 ○既存団体の支援と新しい団体の育成が必要である。 ○芸術・文化活動の発表のための環境整備が必要である。 ○団体・サークルの活動情報、事業情報、支援情報の周知が必要である。 ○近隣市町村との情報交換のためのネットワークの充実が必要である。</p>						
方向性	<p>○新たな『芸術文化支援事業』の体制確立・支援 ○団体・サークルへの活動支援 ○活動発表の場の提供 ○町民の鑑賞機会の充実・継続 ○団体・活動の指導者の発掘・育成 ○近隣市町村との情報の共有・充実</p>						

係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	ミニ劇場	幼児に生の芸術に触れる機会を提供し、創造性を養い、豊かな情操を育む。	町内保育所児・その他幼児ほか	7/11	佐呂間保育所		ひのきやコンサート
社教	少年文化劇場 (小学生・中学生対象)	芸術鑑賞の機会を提供することにより、文化に対する理解と親しみを深めるとともに、情操面での発達を促す。	小・中学生全員	①9/2 ②8/23	①佐呂間小学校 ②佐呂間中学校		①人間影絵『BIG TREE』 (小学生対象) ②民族歌舞団こぶし座(中学生対象)
社教	ミュージック フェスティバル	各学校・町内音楽団体の日頃の練習成果を広く発表する機会を提供するとともに、団体間の親睦や技術の向上を図り、音楽を通じた青少年の健全育成を目指す。	全町民	11/17	町民センター		
社教	ミニ・ギャラリー	各種作品の発表の場及び鑑賞の場を提供することで、芸術文化の振興を図る。	全町民	随時	町民センター 1階ロビー		
社教	現代墨絵作家 「安保 真」作品展 (墨絵教室の開催)	佐呂間町出身芸術家の作品を町内の多くの方に観てもらおうとともに、墨絵(滲み画)原画の作品展とおし芸術活動の楽しさや素晴らしいところを知る機会を提供し、豊かな心と感性を育み、芸術への関心を高めてもらう機会とする。	全町民	9月中旬 (予定)	図書館		墨絵、滲み画ほか原画を展示
社教	芸術文化支援事業	佐呂間町内における芸術文化公演等の鑑賞機会の充実を図り、また町民の自主的な芸術文化活動の活性化を図る。	全町民	随時			・事業費補助 ・会場使用料免除 ・チケット取り扱い ・町民センター優先予約 ・名義後援
社教	芸術文化表彰	芸術文化の振興及び普及発展に顕著な実績又は功績のあった者を表彰する。	全町民	随時			
社教	成人式記念事業	新成人を祝福するとともに、新たなスタートへの自覚を促す。	平成11年4月2日～ 12年4月1日までに 生まれたもの	1/12	町民センター		
社教	音届けコンサート	町内では触れる機会の少ない質の高い音楽に触れる機会を提供することにより、子ども達や町民に音楽を愛する心を育て、豊かな情操を養う。 プロの音楽家達と佐呂間高校吹奏楽部員で演奏グループを結成し、町内各所に向向いて小さいコンサートを開催することで、音楽を身近に感じてもらうとともに、出演する高校生にとっても、プロと共演する機会を提供する。	全町民	12月予定			

領域	文化財						
課題	<p>○郷土の歴史資料と自然景観の整備・保存が必要である。 ○開拓資料館の整理と活用が必要である。 ○郷土の歴史、文化財に係る説明ボランティアの育成が必要である。</p>						
方向性	<p>○郷土の歴史や、風土に関わるふるさと教育の促進 ○開拓資料館の整備と説明ボランティアの育成</p>						
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	佐呂間の歴史を学ぶ (小学生フィールドワーク)	小学生の社会科の学習において、佐呂間町の開拓の歴史に触れてもらう機会を提供し、先人たちが開拓した当時の様子や生活の移り変わりを学んでもらう	小学3・4年生	随時	開拓資料館		
社教	郷土資料の展示	佐呂間町における開拓資料を収集、保存展示し、教育、学術文化の進展に寄与する。	全町民	常設	開拓資料館 町民センター		

領域		施設			
課題		○計画的な維持整備が必要である。 ○施設名称の整備と分かりやすい案内表示が必要である。 ○運営管理の在り方を検討する必要がある。			
方向性		○経年変化に対応する計画的な整備 ○案内表示の改善 ○効率的な運営管理の検討 ○施設ボランティアの育成・活用 ○救命救急体制の充実			
係	施設名	主な施設整備	開設年度	休館日・利用時間等	備 考
社教	町民センター	①集会所長机更新事業 【事業費：2,671千円】	昭和52年	休館日：12/29～1/5 利用時間：午前9時～午後10時	
社教	開拓資料館	施設の維持管理を継続して実施	昭和52年	休館日：12/29～1/5 利用時間：午前9時～午後5時	
社体	体育館	施設の維持を継続して実施	昭和47年	①休館日 ・毎週土曜日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日 ・12/29～1/5 ②利用時間 ・午後1時～午後9時30分 ・日曜日は午後1時～午後5時	
社体	スキー場	①スキー場索道・索橋修理 【事業費：774千円】 ②リフト常用制動機分解整備委託 ・常用制動機分解整備 【事業費：1,512千円】	昭和59年	利用期間：スキー可能な期間 利用時間：午前10時～午後9時	
社体	100年広場	①パークゴルフ場等芝生整備工事 ・佐呂間パークゴルフ場芝張替え (※チャコス&R) ・若佐パークゴルフ場エアレーション 【事業費：5,616千円】	平成4年	利用期間は各施設利用可能な期間とし利用時間は施設によって異なります。	・パークゴルフ場 ・ゲートボール場 ・多目的広場
社体	屋外体育施設	①ブルームボールリンク造成 ・ブルームボールリンク造成費補助 【事業費：600千円】 ②浜佐呂間テニスコートフェンス改修 ・壁打ち撤去、撤去部分フェンス張り 【事業費：710千円】 ③総合グラウンド野球場フェンスカバー購入 ・野球場フェンスカバー(クッション材) 購入設置 【事業費：675千円】 ④総合グラウンド野球場入口フェンス取替え ・入口フェンス取替えゲート設置 【事業費：364千円】	総合グラウンド 昭和47年	利用期間は各施設利用可能な期間とし利用時間は施設によって異なります。	・総合グラウンド ・テニスコート(若佐、佐呂間、浜佐呂間) ・浜佐呂間ボール ・パークゴルフ場(若佐、浜佐呂間) ・ゲートボール場(若佐)
ｽﾀｰ	武道館・温水プール	施設の維持管理を継続して実施 ①幼児プール塗装工事 【事業費：734千円】 ②武道館・温水プール建具改修工事 【事業費：2,112千円】 ③トレーニング機器更新事業 【事業費：6,026千円】	平成6年	①休館日 ・毎週月曜日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日 ・12/30～1/6 ②利用時間 ・午前10時～午後9時 ・土、日曜日は 午前10時～午後5時 ③温水プールへの閉館は5～10月	①幼児用プール色落ちによる塗装工事 ②プール内壁部防水工事(結露浸透防止) ③筋力系トレーニング機器5台更新

領域		図書館					
課題		<p>○学校図書との連携、学校司書の配置の検討が必要である。 ○運営スタッフ、支援スタッフの育成・活用が必要である。 ○『子どもの読書活動推進計画』の積極的な推進が必要である。 ○『図書館だより』等による積極的な情報発信と工夫が必要である。 ○『リクエスト本』などの図書館サービスの向上が必要である。 ○移動図書館車の周知とサービスの向上が必要である。 ○世代への読書機会と情報の提供が必要である。</p>					
方向性		<p>○読書環境の整備 ○学校図書との連携強化、学校司書の配置の検討 ○図書館情報の充実 ○移動図書館車の利用促進 ○読書を通じたコミュニティー活動の推進</p>					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
図書	ブックスタート	子育て支援として絵本の活用を促進し、乳幼児と保護者の図書館の利用拡大を図る。乳児と保護者に、読み聞かせの体験と組み合わせて、絵本を読む。	乳児・保護者	偶数月 第4木曜日	佐呂間 コミセン	43組見込	9・10ヶ月児対象の乳幼児健診に合せて実施 「おひさまあはは」他1冊
図書	セカンドブック	ブックスタート後、改めて絵本を通じての親子のふれあいの大切さを伝える	3歳児	偶数月 第4木曜日	佐呂間 コミセン	25名見込	3歳児対象の乳幼児健診に合せて実施 「たまごにいちちゃん」「おぼけとおでかけ」
図書	移動図書館車巡回及び文庫サービス	情報及び資料提供の地域格差を解消し、図書館活動のPR、新刊案内等広域的なサービスの提供を行う。また子どものうちから読書に対する興味、関心を高め、読書習慣を身につける。	全町民	随時			(巡回サービス) 18箇所 (文庫サービス) 7箇所 若佐コミセン・浜佐呂間活性化センター・各小中学校・高校 (団体貸出) 15箇所 保育所・子育て支援センター・老人福祉センター・77歳以上・めぐるく・森永 他
図書	絵本原画展	絵本の原画を観るにより、興味関心をもち、本に親しみを感じてもらおう。	全町民	6月～9月中の2週間	図書館		絵本作家 堀川真 「もりのやきゅうちーむふあいたーずほしのせかいへ」
図書	読書感想文・感想画コンクール	読書を通して子どもの豊かな感性や表現力の向上を図るとともに、読書習慣を育てる。	各小中学校 児童・生徒		図書館		・各小中学校へ依頼 6月 ・作品受領 9月末 ・感想画展示(館内) 1月 ・審査(感想文1月 感想画1月) ・賞状・記念品授与 3月 ・作品集贈呈 3月
図書	図書館講演会	本・物語・読書に関連する講師・実演者を招き、講演会や講習会を行う。	全町民	10/5	図書館		絵本作家 夏珠まりこ氏 (代表作「もったいないばあさん」)
図書	おはなし広場	幼い時から絵本や紙芝居の読み聞かせにふれることで、読書の楽しさを身につけてもらう。	幼児・児童 保護者	毎週土曜日 午後2時	図書館		図書館職員又はボランティアが読み聞かせを行う
図書	人形劇公演	人形劇サークルによるボランティア活動を通して、絵本や童話の世界と子どものふれあいを図る。	幼児～一般	年数回	図書館、 保育所等		人形劇サークル「ぼんぶきん」による人形劇、パネルシアター、ミュージックシアター、大型紙芝居の公演を行う 老人施設や団体からの要請にも対応する 29年度からは交通安全人形劇も実施
図書	映画鑑賞会	映画鑑賞を通して、本や物語との出逢いを図る。	幼児～一般	7月 1月 3月	児童館、 浜佐呂間、 若佐等		夏休み、冬休み、春休み中に開催 DVD作品を貸借もしくは購入し上映する
図書	工作教室	学校休業期間中に図書館に親しむ機会を設け、図書館の利用促進を図る。	児童	夏休み・冬休み・春休み期間中	図書館		各期間中に5～6回程度開催 (31年4月3日「ふってふってマラス」開催)
図書	図書館まつり	図書館に訪れるきっかけを作ることで、図書館のPR及び利用拡大を図る。	幼児～一般	11月3日 (文化の日)	図書館		文化の日を開催日とし、各種行事を実施する ・古本市・人形劇公演・工作教室 ・スタンプラリー 他 ※社会教育委員、高校生にお手伝いの協力を呼びかける
図書	新着図書情報	図書館に登録された新刊をとりまとめ、広く町民に知らせる。	幼児～一般	月1回	図書館及び町ホームページ		印刷物をカウンター前で配布 町ホームページ上ではPDF形式で配布 高齢者向け簡略版を寿大学、ふれあい郵便に同封 児童向けを各学校、支援センターへ配布
図書	図書館だより「こちら佐呂間町立図書館です。」	特集コーナーの紹介や、行事の告知など、図書館の情報を発信し、来館のきっかけを作る。	幼児～一般	月1回	図書館及び町ホームページ		印刷物をカウンター前で配布 町内の学校・施設へ配布 町ホームページ上ではPDF形式で配布
図書	20歳の20冊	「読書を通して自立した社会人になってほしい」との思いを込め、選定委員会が選んだ書籍20冊のうち希望する1冊を新成人に贈る。	平成10年4月2日～11年4月1日までに生まれた方	成人式 実施日	町民センター		成人式において実施(欠席者には送付)

社会教育団体

■ 少年団体

○佐呂間町子ども会育成会連絡協議会

会 長 渡 部 洋
事務局 長 久 米 修 一

団 体 名	育成会代表者名	子ども会員数	育成会員数
はばたけ子ども会	阿 部 真	33	23
とびたて子ども会	藤 田 大 之	40	31
中学区子ども会	今 章	34	25
うきうき子ども会	宮 下 洋 樹	36	26
富武士子ども会	名 雪 彰	22	12
若里子ども会	本 間 満	23	14
若佐子ども会	渡 部 洋	42	29
計		230	160

○佐呂間金管バンド少年団

会 長	事 務 局 長	団 員 数	育成会員数
高 橋 佳 月	小 笠 原 絵 美	13	12

■ 成人団体

○佐呂間町PTA連合会

会 長 渡 部 洋
事務局 長 佐 々 木 寿 彦

団 体 名	代 表 者 名	会 員 数
若佐小学校PTA	渡 部 洋	38
佐呂間小学校PTA	高 橋 紀 久	146
浜佐呂間小学校PTA	堀 米 拓 也	19
佐呂間中学校PTA	関 東 正 浩	123
佐呂間高校PTA	名 雪 公 洋	91
計		417

■ 文化団体

○佐呂間町文化連盟

会 長 井 上 孝 一
事務局 長 金 子 裕 司

区 分	団 体 名	代 表 者 名	会 員 数
手 芸	蓮峰会	仲 川 蓮 子	5
華 道	華松園 (松月堂古流)	天 内 和 子	7
茶 道	仲川社中	仲 川 宗 蓮	5
歌 謡	カラオケ愛好会	大 沢 栄 子	6
歌 謡	カラオケあすなろ	井 上 孝 一	7
歌 謡	カラオケ寿	村 岡 マチ子	15
歌 謡	はまなす	池 田 功	10
日 舞	若柳臣流・若寿会	若 柳 吉竹寿	35
ダ ン ス	社交ダンス同好会	為 広 恵美子	13
ダ ン ス	キッズダンス	惣 田 文 恵	20
ハワイアン	フラの会	吉 野 純 子	8
ハワイアン	レイアロハ・フラの会	石 川 智佳子	14
詩 舞	聖月流若佐	野 畑 ふみ子	4
大 正 琴	大正琴くるみ会	檜 垣 久美子	9
大 正 琴	藤朋流	杉 本 久美子	8
	計	15 団体	166

■体育団体

○佐呂間町スポーツ協会

会 長 尾 崎 実 事務局長 原 田 大 輔
 副 会 長 木 村 功 事務局 大 塚 淳 史
 // 大 宮 克 美

団 体 名	代 表 者 名	事 務 局	会 員 数
佐呂間町野球協会	武 田 温 友	藤 原 幹 也	139
佐呂間町剣道協会	窪 田 直 喜	永 井 常 幸	15
佐呂間柔道協会	斉 藤 博 美	橋 本 英 夫	14
佐呂間町ソフトボール協会	大 宮 克 美	志 賀 克 浩	123
佐呂間町ブルームボール協会	室 井 久 志	中 原 央 人	61
佐呂間町ゲートボール協会	小 池 栄	小 池 栄	37
佐呂間スキー協会	門 茂 治	山 本 幸 代	21
佐呂間ゴルフ同好会	船 木 邦 雄	水 田 勝 彦	51
佐呂間町ミニバレー協会	石 川 修	石 川 円	10
佐呂間パークゴルフ協会	荻 原 弘 純	佐々木 博 良	150
佐呂間町サッカー協会	阿 部 真	阿 部 楓 馬	33
サロマテニス協会	北 野 宏 幸	山 原 光 広	35
佐呂間町サイクリング協会	渡 部 英 章	室 井 公 裕	18
佐呂間町卓球協会	永 野 健 憲	永 井 啓 子	13
佐呂間町陸上競技協会	尾 崎 実	久 米 修 一	
計 (15 団体)			720

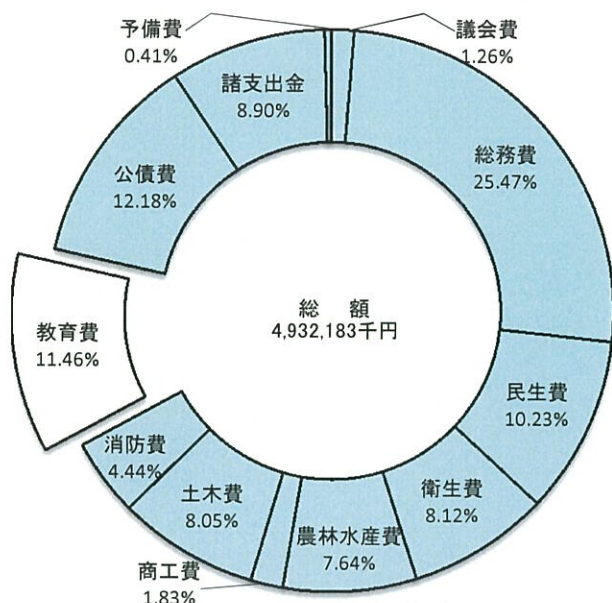
○佐呂間町スポーツ少年団本部

本 部 長 本 間 満 義
 副 本 部 長 石 川 勝 義
 // 鈴 木 祐 樹
 事 務 局 長 小 林 憲 治

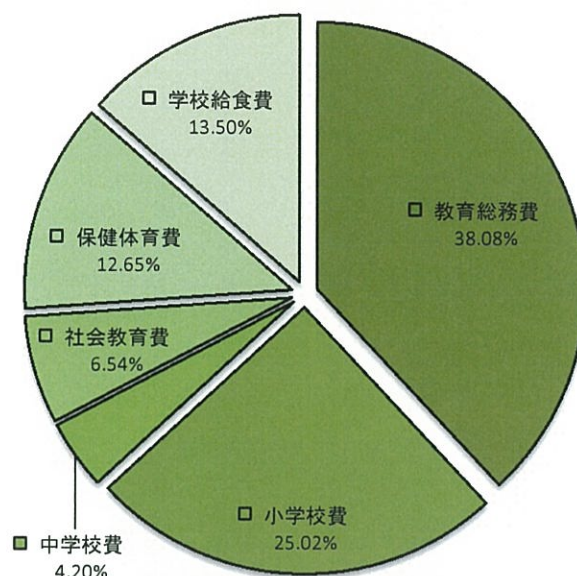
団 体 名	代 表 者 名	事 務 局	会 員 数
佐呂間野球スポーツ少年団	石 川 勝 義	大 室 舞	17
佐呂間柔道スポーツ少年団	尾 崎 実	今 真 紀	8
佐呂間バレーボール少年団	藤 田 大 之	小 林 憲 治	5
佐呂間スキースポーツ少年団	木 船 博 幸	山 口 多 美 子	10
佐呂間スピードスケート少年団	鈴 木 祐 樹	鈴 木 祐 樹	34
佐呂間サッカー少年団	阿 部 真	船 木 英 理 子	25
佐呂間ミニバスケットボール少年団	本 間 満	宍 戸 友 彦	21
サロマジュニアラグビー少年団	尾 崎 実	尾 崎 実	0
計 (8 団体)			120

教 育 予 算

■平成31年度一般会計款別予算



■平成31年度教育費項目別割合



■教育費項目別予算額 (平成31年4月1日現在)

歳 出 予 算				財 源 内 訳			
項 目	目	予算額 (千円)	割合 (%)	国 道 支出金	地方債	その他	一般財源
教育総務費		215,308	38.08%	0	0	5,181	210,127
	教育委員会費	1,651		0	0	0	1,651
	事務局費	137,249		0	0	7	137,242
	教育財産管理費	69,450		0	0	3,174	66,276
	教育振興費	6,958		0	0	2,000	4,958
小学校費		141,454	25.02%	9,014	28,100	12,000	92,340
	学校管理費	127,255		8,767	28,100	12,000	78,388
	教育振興費	14,199		247	0	0	13,952
中学校費		23,767	4.20%	199	0	0	23,568
	学校管理費	18,786		20	0	0	18,766
	教育振興費	4,981		179	0	0	4,802
社会教育費		36,965	6.54%	0	0	4,990	31,975
	社会教育総務費	11,401		0	0	2,150	9,251
	町民センター運営費	13,217		0	0	1,840	11,377
	図書館費	12,347		0	0	1,000	11,347
保健体育費		71,525	12.65%	0	0	7,024	64,501
	保健体育総務費	20,117		0	0	2,141	17,976
	体育館費	5,944		0	0	200	5,744
	スキー場管理費	5,709		0	0	1,272	4,437
	武道館・温水プール費	39,755		0	0	3,411	36,344
学校給食費		76,351	13.51%	0	9,000	19,954	47,397
	学校給食費	76,351		0	9,000	19,954	47,397
合 計		565,370	100.00%	9,213	37,100	49,149	469,908
財源割合 (%)				1.63%	6.56%	8.69%	83.12%

教 育 施 設

施設の概要（令和元年5月1日）

■ 小学校

事 項 学校名	校地面積 (㎡)	建 物 面 積 (㎡)						
		校 舎				屋 内 運 動 場		
		木 造	鉄 筋	その他	計	鉄 筋	その他	計
佐呂間小学校	31,897	73	3,448		3,521	27	1,061	1,088
若佐小学校	39,998		1,726	276	2,002	15	717	732
浜佐呂間小学校	36,593		2,469		2,469		726	726
合 計	108,488	73	7,643	276	7,992	42	2,504	2,546

■ 中学校

事 項 学校名	校地面積 (㎡)	建 物 面 積 (㎡)						
		校 舎				屋 内 運 動 場		
		木 造	鉄 筋	その他	計	鉄 筋	その他	計
佐呂間中学校	33,970		3,454	169	3,623		1,052	1,052

■ 佐呂間町学校給食センター

建物面積 (㎡)	設 置 年 月 日	所 在 地	備 考
889	平成19年3月22日	佐呂間町幸町1番地の1	平成19年4月9日から各学校へ供用開始

■ 社会教育施設

施設名	規模 (㎡)	設置年月	所在地	備考
町民センター	2,321	S52.6	永代町	H13 ステージ裏控室増設
開拓資料館	110	S52.3	永代町	
図書館	676	S58.12	永代町	
体育館	2,020	S47.10	西富	
武道館・温水プール	3,663	H6.9	西富	愛称「スター」
浜佐呂間プール	534	H3.7	浜佐呂間	
総合グラウンド	28,363	S47.10	西富	照明施設 8基(S61.9) ソフトボール場2面・野球場1面
100年広場多目的広場	10,800	H6.5	西富	
100年広場パークゴルフ場	41,897	H6.5	西富	照明施設 2基 36ホールの H12年6月18ホールの(13,000㎡)増設
100年広場ゲートボール場	1,437	H6.5	西富	3面
テニスコート	1,469	S55.8	西富	照明施設 1基(H7.6) 2面
浜佐呂間テニスコート	851	H7.12	浜佐呂間	照明施設 4基 1面
浜佐呂間パークゴルフ場	24,288	H10.2	浜佐呂間	18ホール
若佐ゲートボール場	2,304	H10.2	若佐	2面
若佐パークゴルフ場	17,868	H10.2	若佐	18ホール
若佐テニスコート	685	H10.2	若佐	1面
スキー場	93,140	S59.12	西富	ロッジ(253㎡) 照明施設 5基 照明施設 3基(H8.10)

施設の利用状況（平成30年度）

■ 町民センター

区 分	集会室	控 室	調 理 室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	和 室 (1.2.3)	会 議 室	託 児 室	ロビ-	合 計
利用件数	246	20	70	225	137	108	38	199	34	8	82	1,167
利用人数	11,815	267	1,208	3,228	1,421	2,279	225	2,895	255	29	2,684	26,306

■ 図書館

区 分	本 館	B M 車	若 佐 コ ミ セ ッ シ ョ ン	浜 佐 呂 間	学 校 巡 回 文 庫	団 体 貸 出	合 計
貸出冊数	30,604	3,666	344	162	8,463	11,023	54,262
貸出人数	7,716	1,065	555				9,336

■ 開拓資料館

利用人数	利用日数
129	14

■ 武道館・温水プール

区 分	武 道 館	温 水 プ ー ル	ト レ ニ ン グ ル ー ム	研 修 会 議 室	和 室	テ ン ニ ン グ コ ー ス	そ の 他	合 計
利用人数	6,992	8,837	7,148	875	631	1,266	4,227	29,976

■ 体育館

利用人数	利用日数
5,938	234

■ テニスコート

区 分	佐 呂 間	浜 佐 呂 間	若 佐	合 計
利用人数	868	2	0	870
利用日数	88	1	0	89

■ スキー場

利用人数	利用日数
31,177	48

■ 100年広場

区 分	ハ ー ク コ ー ル フ 場	ケ ー ト ホ ー ル 場	多 目 的 広 場	合 計
利用人数	1,712	1,820	4,929	8,461
利用日数	199	126	131	456

■ 総合グラウンド

区 分	ソ フ ト ホ ー ル 場	野 球 場	フ ー ル ホ ー ル 場	合 計
利用人数	2,345	3,307	500	6,152
利用日数	47	116	14	177

■ 若佐ゲートボール場

利用人数	利用日数
2,107	126

■ 浜佐呂間プール

利用人数	利用日数
231	31

■ 学校開放

区 分	佐 呂 間 小	若 佐 小	浜 佐 呂 間 小	佐 呂 間 中	合 計
利用人数	3,571	1,228	104	544	5,447
利用日数	213	77	21	50	361

■ パークゴルフ場

区 分	若 佐	浜 佐 呂 間	合 計
利用人数	613	154	767
利用日数	199	199	398

教育関係委員名簿

■ 教育委員（5名）

氏名	住所	任期	備考
仲川 倫 則	宮前町	平成28年10月1日 ~ 令和1年9月30日	教育長
平戸 鉄 也	川西	平成27年10月14日 ~ 令和1年10月13日	教育長職務代理
内藤 宏 文	仁倉	平成30年10月14日 ~ 令和4年10月13日	
江刺 徳 明	幸町	平成28年10月14日 ~ 令和2年10月13日	
市村 由 佳	西富	平成29年10月14日 ~ 令和3年10月13日	

■ 社会教育委員（18名以内）

任期 平成30年4月1日 ~ 令和2年3月31日

氏名	住所	職業	備考	氏名	住所	職業	備考
船木 耕 二	富武士	漁業		室井 隆 治	浜佐呂間	漁業	
星 保 行	永代町	会社役員		室井 公 裕	西富	団体職員	
尾崎 実	宮前町	自営業		真如 智子	朝日	主婦	
鈴鹿 保	大成	農業		山保 浩之	西富	団体職員	
檜垣 久美子	宮前町	音楽講師		川又 聖子	西富	会社員	
村岡 大 輔	浜佐呂間	漁業		阿部 夏 希	北	団体職員	
西岡 理 恵	若里	農業		渡邊 周 一	北	佐呂間高等学校長	
嵐 則 子	西富	主婦		三島木 羽由希	北	団体職員	

■ スポーツ推進委員（8名以内）

任期 平成31年4月1日 ~ 令和3年3月31日

氏名	住所	職業	備考	氏名	住所	職業	備考
室井 久 志	富武士	漁業		住吉 健 司	浜佐呂間	漁業	
佐伯 優 一	若佐	会社員		山崎 亜 弥	西富	無職	
柏尾 郁 未	西富	団体職員		堀米 朱 里	浜佐呂間	漁業	
宇野 優 利	宮前町	会社員		十亀 莉 央	宮前町	団体職員	

■ 佐呂間町教育委員会事務局の機構（平成31年4月1日現在）

（ ） 兼務職員 嘱託職員

教育長
仲川倫則

管理課長 谷口 義春
課長補佐 永野 正
主 幹 弘内 裕子
TEL 2-1294
FAX 2-1131

総務係長 五十嵐 正人

委員会の会議・公印の管守・典礼・表彰・規則・令達、学校の設置・廃止、文書の收受・発送・保存、職員の任免・給与・服務・その他人事・福利厚生・保健衛生、学級編成、教職員の配置・任免・給与・服務・分限・懲戒・その他人事、教育に係る調査、教職員団体、税外収入、スクールバス、他の係に属さないこと

教育相談員 岩城 巖

学校教育係長（弘内 裕子） 語学指導助手 オードリー・ホルダー

教職員の研修、児童生徒の就学・転学・退学、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、通学区域、教育課程・学習指導・生徒指導の援助、児童生徒の就学援助、教科書・その他教材、教職員及び児童生徒の福利厚生・保健衛生、児童生徒の災害、語学指導助手、姉妹校交流、学校経理、税外収入、遠距離通学、その他学校教育に関する事

学校管理係長（永野 正）

学校整備、教育財産の管理、教員住宅の管理、物品の管理処分、学校施設の維持管理、学校給食、奨学資金、その他学校管理に関する事

学校給食センター所長

（谷口 義春）

次長 本田 利明

TEL 5-2555

FAX 5-3950

学校給食係長（本田 利明）

栄養教諭・管理栄養士 大城 愛梨

給食センターの管理運営、佐呂間町学校給食センター運営委員会、職員の福利厚生、給食センターの衛生管理、統計資料の作成、経理その他一般事務、学校給食費の徴収、公印の管守、学校給食等の献立・物資の調達・調理・材料の受払・保管・提供・運搬、ボイラー・調理機器等の点検整備、その他庶務・学校給食等に関する事

社会教育課長 久米 修一

課長補佐 大谷 宏明

TEL 2-1295

FAX 2-1131

社会教育係長 阿部 真一 藤田 真紗美・（阿部 真也）

小池 一史

社会教育の計画、社会教育委員、社会教育事業、社会教育関係団体等の指導・育成、社会教育施設の整備・管理運営、文化財の保護・郷土資料の収集・保存管理、成人式、生涯学習、税外収入、その他社会教育に関する事

社会体育係長 佐々木 崇一 阿部 真也・（藤田 真紗美）

社会体育の計画、スポーツ推進委員、社会体育事業、社会体育団体等の指導・育成、社会体育施設の整備・管理運営、学校開放事業、競技スポーツ・軽スポーツの振興、税外収入、その他社会体育に関する事

図書館長 志賀 克浩

TEL 2-2215

FAX 2-2632

管理奉仕係長 新居 智之 渡辺 晶子 桜井 真莉菜

文書の收受・発送・保存、公印の管守、図書館運営の企画・調査・統計、施設の維持管理、税外収入、図書館奉仕、図書館資料の選択・収集整理・保存・除籍・分類配列・目録作成・貸出・返却、参考業務・読書相談、館外奉仕、その他管理・奉仕に関する事

武道館・温水プール館長

（久米 修一）

副館長（大谷 宏明）

TEL 2-2261

FAX 2-1461

管理指導係長 前 典宏 佐藤 大輔・（佐々木 崇）

管理、武道館・温水プールの運営、公印の管守、文書の收受・発送・保存、施設の使用許可・維持管理、税外収入、スポーツ・健康づくりの指導・普及・調査研究・資料収集・活用、各種スポーツの適正・健康・体力相談、その他管理・指導に関する事

佐 呂 間 町 民 憲 章

わたくしたちは、森と湖のきびしい大自然の中で開拓した先人のたくましい精神を受けつぐ佐呂間町民であることを誇りとしています。

わたくしたちは、自然の恵みに感謝しながら生きがいのある生活を確立し、希望と自信をもって、ひとりひとりの幸せと未来に伸びゆく、豊かで明るいまちをつくるため、この憲章を定めます。

わたくしたち佐呂間町民は、英知と友愛と勇気をもって、

- 1 自然の恵みを生かし、美しく住みよいまちをつくります。
- 1 進んできまりを守り、明るく平和なまちをつくります。
- 1 たがいに助け合い、あたたかく幸せなまちをつくります。
- 1 仕事に誇りをもち、楽しく豊かなまちをつくります。
- 1 若い力をそだて、伸びゆく文化のまちをつくります。

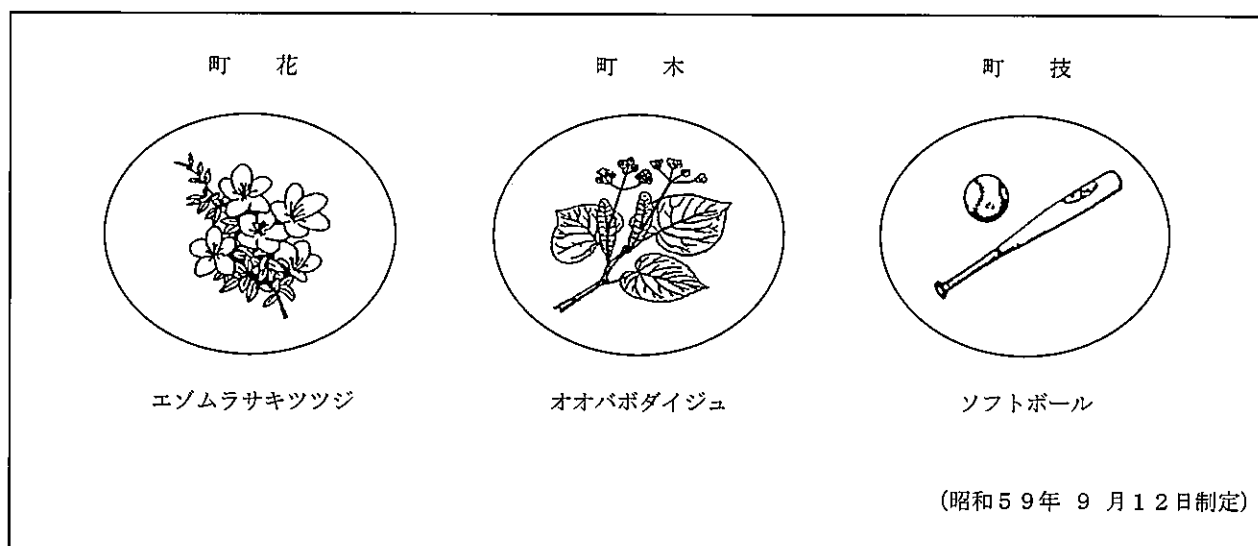
(昭和50年12月11日制定)

生涯スポーツの町宣言

わたくしたち佐呂間町民は、生涯を通じて、スポーツを愛したくましい心と体を鍛え、健康で明るい豊かな郷土を築くため「生涯スポーツの町」を宣言します。

- 1 スポーツを愛し、豊かな心と健やかな体をつくりましょう。
- 1 スポーツに親しみ、いつまでも活力ある生活を送りましょう。
- 1 スポーツを楽しみ、ふれあいと友情を深めましょう。
- 1 スポーツの輪を広げ、明るく住みよいまちをつくりましょう。

(昭和62年5月7日宣言)



「平成31年(令和元年)度 佐呂間町教育の概要」

佐呂間町教育委員会 管理課総務係

TEL : 01587 (2) 1294

FAX : 01587 (2) 1131

E-mail : kyoui@town.saroma.hokkaido.jp